

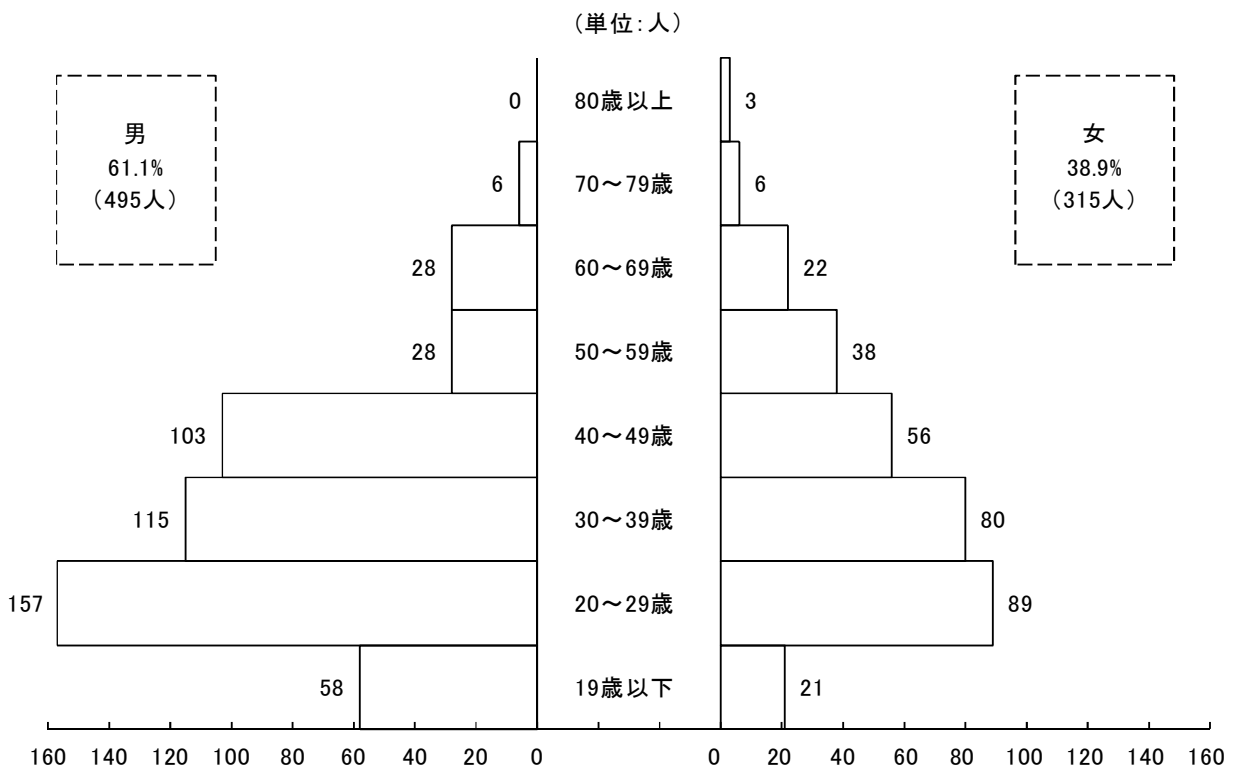
第3章 知的障害者の状況

1 基本的属性

(1) 性・年齢階級

回答者を性別にみると「男性」61.1%（495人）、「女性」38.9%（315人）である。年齢階級は男性、女性ともに、20代が最も多くなっている。（図Ⅲ-1-1）

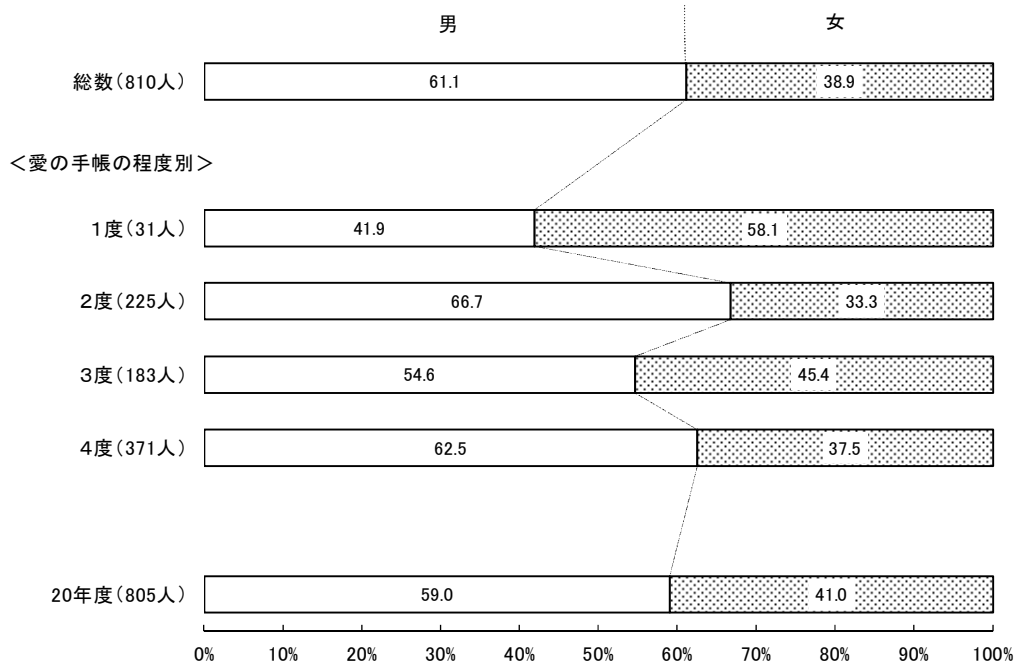
図Ⅲ-1-1 性・年齢階級



(2) 性別－愛の手帳の程度別

性別を愛の手帳の程度別にみると1度では女性の割合の方が高く、2度から4度では男性の割合の方が高い。男性の割合が最も高いのは2度で66.7%となっている。(図Ⅲ-1-2)

図Ⅲ-1-2 性別－愛の手帳の程度別

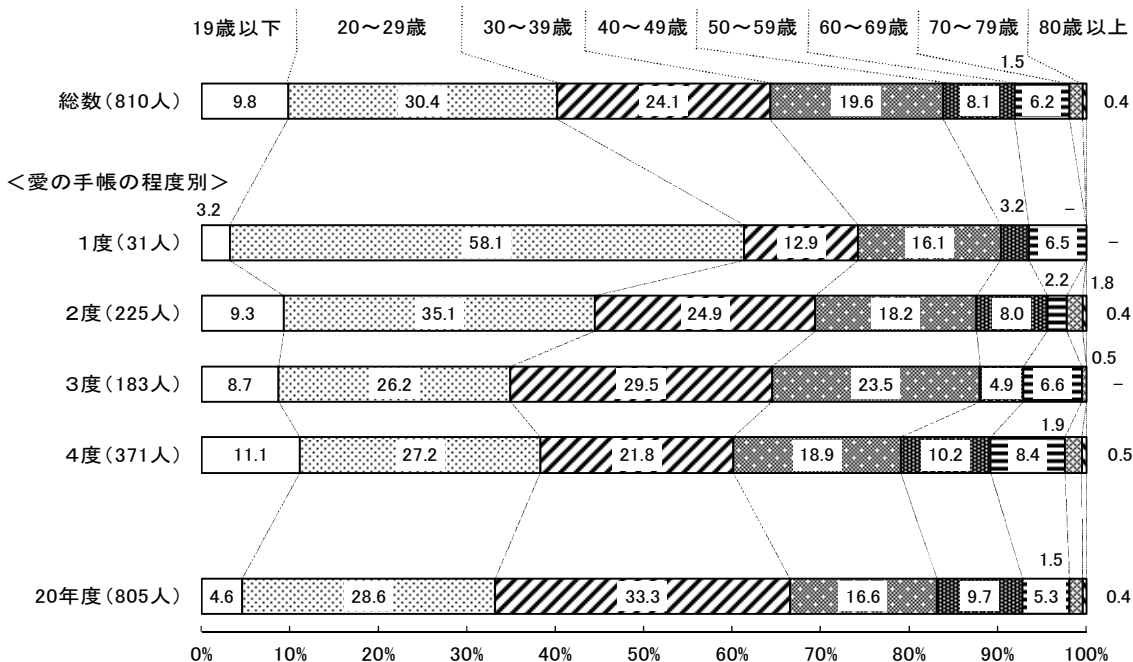


(3) 年齢階級－愛の手帳の程度別

年齢階級は20代の割合が最も高く30.4%、次いで30代の24.1%となっている。

年齢階級を愛の手帳の程度別にみると、1度、2度、4度では20代の割合が最も高く(58.1%、35.1%、27.2%)、3度では30代の割合が最も高く29.5%となっている。(図Ⅲ-1-3)

図Ⅲ-1-3 年齢階級－愛の手帳の程度別



(4) 現在の生活の場－愛の手帳の程度別

20年度調査よりも「施設に入所している」割合は3.3ポイント減少

現在の生活の場を聞いたところ、「在宅で生活している」割合は91.7%、「施設に入所している」割合は8.3%であった。

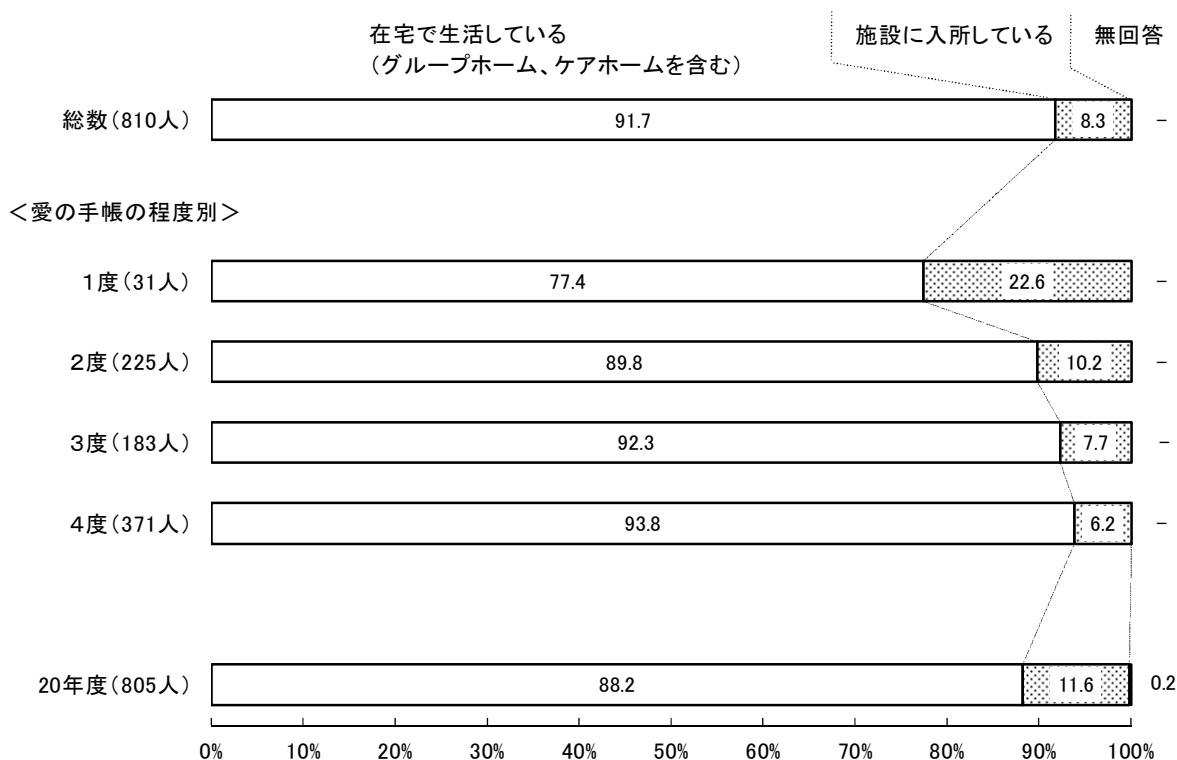
愛の手帳の程度別にみると、「施設に入所している」割合は1度で22.6%となっている。

20年度調査と比べると、「施設に入所している」と答えた割合は3.3ポイント減少している。

(図Ⅲ-1-4)

現在の生活の場はどこですか。

図Ⅲ-1-4 現在の生活の場－愛の手帳の程度別



(5) 住居の種類一年齢階級、愛の手帳の程度別

※在宅で生活している（グループホーム、ケアホームを含む）743 人が対象

20年度調査よりも「グループホーム、ケアホーム」に住んでいる割合は2.1ポイント増加

在宅者（施設入所者を除く）の住居の種類をみると「持家（一戸建て）」の割合は20年度調査の46.8%から42.9%に減少し、「持家（分譲マンション等）」の割合は13.0%から17.1%に増加した。また、「グループホーム、ケアホーム」の割合も7.6%から9.7%に増加している。
(表Ⅲ-1-1)

問 あなたのお住まいの種類は次のどれですか。

表Ⅲ-1-1 住居の種類一年齢階級、愛の手帳の程度別

		総数	持家	持家 (一戸建て)	持家 (分譲マンション等)	借家・賃貸住宅等	都・区 市町村の公営賃貸住宅	都市機構 (旧公団)・公社などの 賃貸住宅	民間賃貸住宅 (一戸建て)	民間賃貸住宅 (共同住宅)	間借り	社宅などの 給与住宅	グループホーム、 ケアホーム	その他	無回答
総数		100.0 (743)	60.0	42.9	17.1	28.3	11.4	3.2	1.2	10.8	0.4	1.2	9.7	0.5	1.5
年齢階級別	19歳以下	100.0 (78)	66.7	46.2	20.5	29.5	7.7	1.3	2.6	17.9	-	-	-	2.6	1.3
	20～29歳	100.0 (242)	65.7	43.8	21.9	26.0	9.9	2.5	1.2	10.3	0.4	1.7	7.0	-	1.2
	30～39歳	100.0 (177)	61.6	44.6	16.9	27.1	10.2	4.0	1.7	8.5	0.6	2.3	9.6	0.6	1.1
	40～49歳	100.0 (143)	49.7	32.9	16.8	32.2	15.4	6.3	0.7	9.1	-	0.7	15.4	0.7	2.1
	50～59歳	100.0 (55)	49.1	47.3	1.8	27.3	12.7	1.8	-	12.7	-	-	21.8	-	1.8
	60歳以上	100.0 (48)	58.3	52.1	6.3	31.3	16.7	-	-	12.5	2.1	-	8.3	-	2.1
愛の手帳の程度別	1度	100.0 (24)	62.5	25.0	37.5	37.5	25.0	8.3	-	-	-	4.2	-	-	-
	2度	100.0 (202)	65.8	43.1	22.8	25.7	10.4	2.5	1.5	9.9	-	1.5	7.4	-	1.0
	3度	100.0 (169)	63.3	45.6	17.8	22.5	11.8	2.4	1.2	5.9	-	1.2	12.4	-	1.8
	4度	100.0 (348)	54.9	42.8	12.1	31.9	10.9	3.7	1.1	14.4	0.9	0.9	10.3	1.1	1.7
20年度		100.0 (710)	59.7	46.8	13.0	30.8	15.4	3.0	1.5	10.3	0.1	0.6	7.6	0.3	1.5

(注)住居の種類については、所有、賃貸の名義が障害者本人と限定していない。そのため、家族等の名義になっている場合も含まれており、調査結果と所有者、賃貸の名義人とは必ずしも一致しない。

(6) 現在一緒に生活している人〔複数回答〕一年齢階級、住居の種類、愛の手帳の程度別

げんざいいっしょ せいかつ
現在一緒に生活している人は、「親」の割合が 78.5%

一緒に生活している人は、「父親、母親」の割合が 78.5%と最も高く、次いで「兄弟姉妹」の 41.7%となっている。「一人で暮らしている」人を年齢階級別にみると 50 代が 21.8%、60 歳以上が 29.2%と他の年齢階級と比べて高くなっており、また、愛の手帳の程度別にみると 4 度の割合が最も高く 10.1%となっている。20 年度調査と比べると、「一人で暮らしている」割合が 2.3 ポイント上昇している。(表Ⅲ-1-2)

とい 問 あなたは現在、だれと一緒に生活していますか。

表Ⅲ-1-2 現在一緒に生活している人〔複数回答〕一年齢階級、住居の種類、愛の手帳の程度別

		総 数	父 親、 母 親	夫、 妻	子 供	兄 弟 姉 妹	そ の 他 の 親 族	暮 一 人 し て い る	そ の 他	無 回 答
総数		100.0 (743)	78.5	1.5	1.2	41.7	7.3	5.8	9.3	1.6
年 齢 階 級 別	19歳以下	100.0 (78)	98.7	-	1.3	67.9	6.4	-	-	1.3
	20～29歳	100.0 (242)	89.7	0.4	0.4	57.0	11.6	1.7	7.0	0.8
	30～39歳	100.0 (177)	84.2	2.3	2.3	28.8	6.8	2.8	7.3	2.8
	40～49歳	100.0 (143)	74.8	2.1	0.7	24.5	2.8	5.6	16.1	0.7
	50～59歳	100.0 (55)	41.8	5.5	3.6	21.8	5.5	21.8	18.2	3.6
	60歳以上	100.0 (48)	20.8	-	-	43.8	4.2	29.2	12.5	2.1
住 居 の 種 類 別	持家	100.0 (446)	91.7	1.1	0.4	51.8	9.4	1.8	0.7	0.7
	持家(一戸建て)	100.0 (319)	90.3	0.9	0.6	56.1	12.2	1.9	0.9	0.9
	持家(分譲マンション等)	100.0 (127)	95.3	1.6	-	40.9	2.4	1.6	-	-
	借家・賃貸住宅等	100.0 (210)	77.1	2.9	3.3	36.2	4.8	13.8	1.9	-
	都・区市町村の公営賃貸住宅	100.0 (85)	81.2	2.4	4.7	34.1	4.7	9.4	-	-
	都市機構(旧公団)・公社などの賃貸住宅	100.0 (24)	87.5	4.2	-	41.7	8.3	-	-	-
	民間賃貸住宅(共同住宅)	100.0 (80)	67.5	3.8	3.8	32.5	2.5	25.0	1.3	-
	グループホーム、ケアホーム	100.0 (72)	5.6	-	-	2.8	-	6.9	83.3	6.9
愛 の 手 帳 の 程 度 別	1度	100.0 (24)	91.7	-	-	58.3	8.3	4.2	-	-
	2度	100.0 (202)	88.6	-	-	48.5	6.9	2.0	6.9	1.0
	3度	100.0 (169)	79.9	1.2	-	35.5	7.7	1.8	12.4	1.8
	4度	100.0 (348)	71.0	2.6	2.6	39.7	7.2	10.1	9.8	2.0
20年度		100.0 (710)	78.9	3.0	2.1	40.8	7.2	3.5	9.2	0.3

(注)住居の種類が「民間賃貸住宅(一戸建て)」「社宅などの給与住宅」「間借り」「その他」については母集団が少数のため省略した。

(7) 現在の主な介護者一年齢階級、愛の手帳の程度別

げんざい おも かいごしゃ ははおや わりあい
現在の主な介護者は、「母親」の割合が 55.6%

在宅で生活している人に現在の介護者を聞いたところ、「母親」と回答した割合が 55.6%で最も高く、次いで「介護者はいない」が 20.5%であった。

年齢階級別にみると、年齢が低いほど「母親」が介護者である割合が高くなっている。(表Ⅲ-1-3)

とい 問 あなたの、現在の主な介護者は誰ですか。

表Ⅲ-1-3 現在の主な介護者一年齢階級、愛の手帳の程度別

		総 数	父 親	母 親	配 偶 者	子 供	兄 弟 姉 妹	そ の 他 の 親 族	介 護 者 は い な い	そ の 他	無 回 答
総数		100.0 (743)	6.9	55.6	0.4	-	5.0	0.8	20.5	7.4	3.5
年 齢 階 級 別	19歳以下	100.0 (78)	5.1	73.1	-	-	1.3	1.3	16.7	-	2.6
	20～29歳	100.0 (242)	6.2	66.9	-	-	-	0.4	19.0	5.4	2.1
	30～39歳	100.0 (177)	10.7	54.8	-	-	0.6	0.6	21.5	5.1	6.8
	40～49歳	100.0 (143)	7.0	52.4	0.7	-	3.5	-	22.4	10.5	3.5
	50～59歳	100.0 (55)	3.6	29.1	3.6	-	18.2	1.8	20.0	20.0	3.6
	60歳以上	100.0 (48)	2.1	12.5	-	-	41.7	4.2	25.0	14.6	-
愛 の 手 帳 の 程 度 別	1度	100.0 (24)	8.3	79.2	-	-	-	4.2	-	4.2	4.2
	2度	100.0 (202)	5.4	78.2	-	-	4.0	0.5	2.0	6.9	3.0
	3度	100.0 (169)	12.4	59.2	0.6	-	3.6	0.6	12.4	8.9	2.4
	4度	100.0 (348)	4.9	39.1	0.6	-	6.6	0.9	36.5	7.2	4.3

(8) 主な介護者の年齢・年齢階級、愛の手帳の程度別

おも かいごしゃ ねんれい だい だい やく わり
主な介護者の年齢は、50代～60代で約6割

主な介護者の年齢を聞いたところ、60代が最も多く29.7%、次いで50代が28.5%で、50代～60代の合計が58.2%と約6割になっている。

愛の手帳の程度別にみると、1度では主な介護者の年齢が50代の割合が56.5%となっており、総数(28.5%)と比べて高くなっている。(表Ⅲ-1-4)

とい おも かいごしゃ ねんれい なんさい へいせい ねん がつ にちげんざい
問 主な介護者の年齢は何歳ですか(平成25年10月16日現在)。

表Ⅲ-1-4 主な介護者の年齢・年齢階級、愛の手帳の程度別

		総 数	1 9 歳 以 下	2 0 歳 9 歳	3 0 歳 9 歳	4 0 歳 9 歳	5 0 歳 9 歳	6 0 歳 9 歳	7 0 歳 9 歳	8 0 歳 以 上	不 明	無 回 答	(再 掲 5 歳 以 上)
総数		100.0 (565)	0.2	0.5	1.2	11.7	28.5	29.7	15.2	5.3	3.0	4.6	33.8
年 齢 階 級 別	19歳以下	100.0 (63)	-	1.6	1.6	54.0	33.3	4.8	1.6	-	-	3.2	3.2
	20～29歳	100.0 (191)	-	-	0.5	14.1	62.8	16.2	0.5	0.5	1.6	3.7	6.8
	30～39歳	100.0 (127)	0.8	0.8	1.6	0.8	7.1	66.1	17.3	-	1.6	3.9	42.5
	40～49歳	100.0 (106)	-	0.9	2.8	2.8	2.8	27.4	48.1	7.5	4.7	2.8	77.4
	50～59歳	100.0 (42)	-	-	-	-	14.3	21.4	9.5	33.3	11.9	9.5	47.6
	60歳以上	100.0 (36)	-	-	-	2.8	5.6	33.3	19.4	19.4	5.6	13.9	55.6
愛 の 手 帳 の 程 度 別	1度	100.0 (23)	-	-	4.3	17.4	56.5	17.4	4.3	-	-	-	17.4
	2度	100.0 (192)	-	-	0.5	12.5	31.8	28.6	12.5	5.7	4.2	4.2	30.2
	3度	100.0 (144)	-	-	0.7	9.0	18.8	34.7	21.5	7.6	2.1	5.6	45.1
	4度	100.0 (206)	0.5	1.5	1.9	12.1	29.1	28.6	14.6	3.9	2.9	4.9	31.1

2 障害の状況

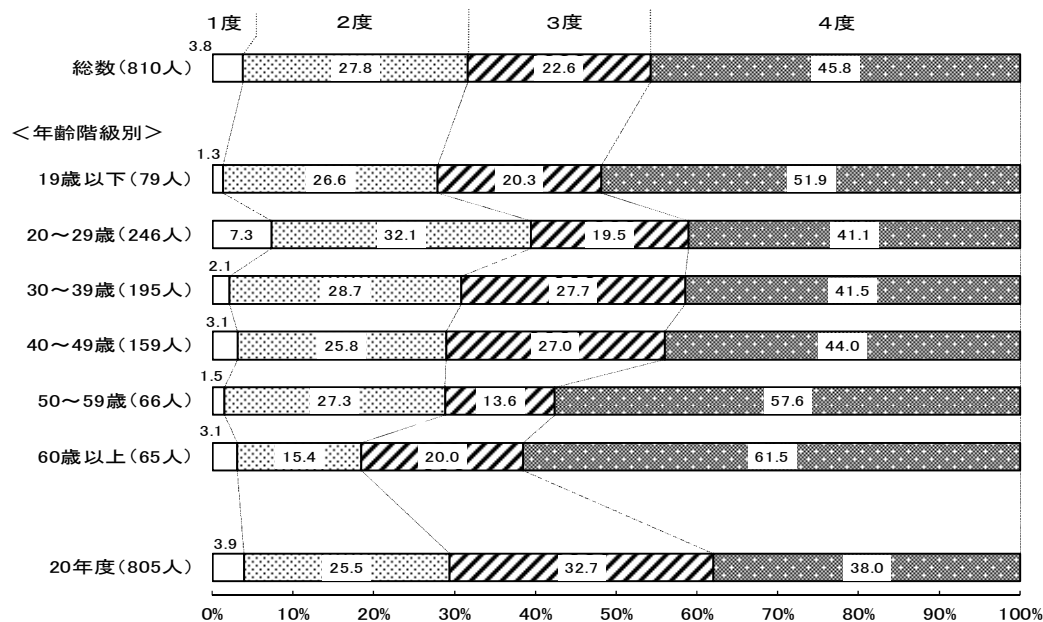
(1) 愛の手帳の程度一年齢階級別

あい てちょう ていど ど わりあい たか
愛の手帳の程度は「4度」の割合が高い

愛の手帳の程度は、各年齢階級とも、「4度」の割合が最も高くなっている。(図Ⅲ-2-1)

とい 問 あなたがお持ちの愛の手帳は何度ですか。

図Ⅲ-2-1 愛の手帳の程度一年齢階級別



(2) 愛の手帳以外の手帳の所持の有無〔複数回答〕－愛の手帳の程度別

あい てちょう いがい てちょう も わりあい
愛の手帳以外に手帳を持っている割合は25.9%

愛の手帳以外の手帳所持の有無の割合は、「手帳あり」が25.9%、「手帳なし」が69.4%となっている。「手帳あり」の25.9%のうち、「身体障害者手帳」を所持していると回答した人は、20.5%で、手帳の程度をみると1級(8.8%)の割合が高い。(表Ⅲ-2-1)

とい 問 あなたが愛の手帳以外に手帳をお持ちですか。

表Ⅲ-2-1 愛の手帳以外の手帳の所持の有無〔複数回答〕－愛の手帳の程度別

	総 数	手 帳 あり	身体障害者手帳										福祉精神障害者保健 手帳	戦傷病者手帳	その他	手帳なし	無 回 答
			1級	2級	3級	4級	5級	6級	無 回 答								
総数	100.0 (810)	25.9	20.5	8.8	4.6	2.6	2.7	1.1	0.7	－	6.2	－	－	69.4	4.7		
1度	100.0 (31)	83.9	83.9	71.0	12.9	－	－	－	－	－	3.2	－	－	16.1	－		
2度	100.0 (225)	33.8	32.0	13.8	8.0	4.4	2.7	0.9	2.2	－	2.2	－	－	61.3	4.9		
3度	100.0 (183)	21.3	15.8	4.9	2.7	4.4	2.2	1.1	0.5	－	5.5	－	－	74.9	3.8		
4度	100.0 (371)	18.6	10.5	2.4	2.7	0.8	3.2	1.3	－	－	9.2	－	－	76.0	5.4		
20年度	100.0 (805)	24.6	22.1	10.6	4.2	3.1	1.9	0.9	0.9	0.6	2.6	0.1	0.1	71.9	3.5		

3 健康・医療

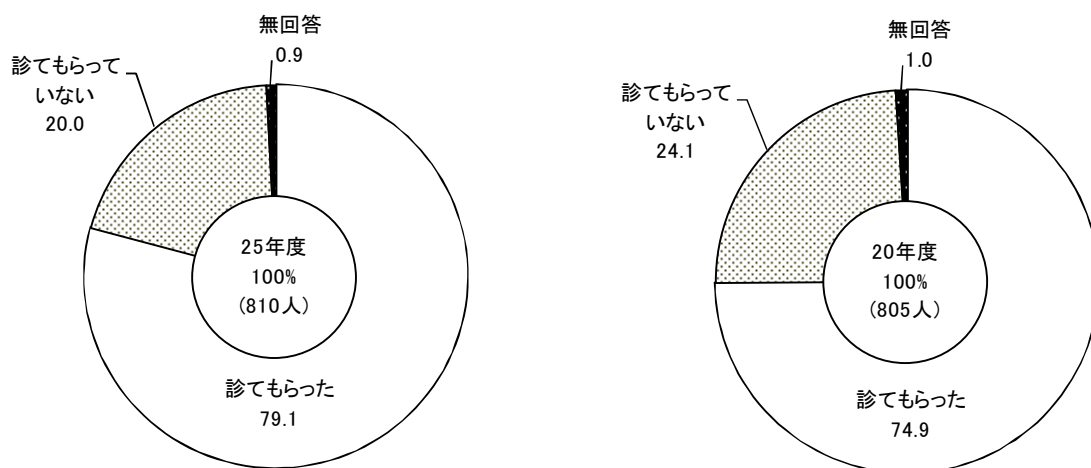
(1) 過去1年間の受診の有無

過去1年間に医者に「診てもらった」割合は79.1%

過去1年間の受診（障害が原因の場合に限らず、すべての病気・ケガ等を含む。）の有無をみると、医者に「診てもらった」割合は79.1%で、20年度調査よりも4.2ポイント上昇している。（図Ⅲ-3-1）

あなたは過去1年間に病気やケガで医者に診てもらったことがありますか。

図Ⅲ-3-1 過去1年間の受診の有無



(2) 通院に要する時間一年齢階級別

※過去1年間に、病気やケガで医者に診てもらったことがある641人の状況

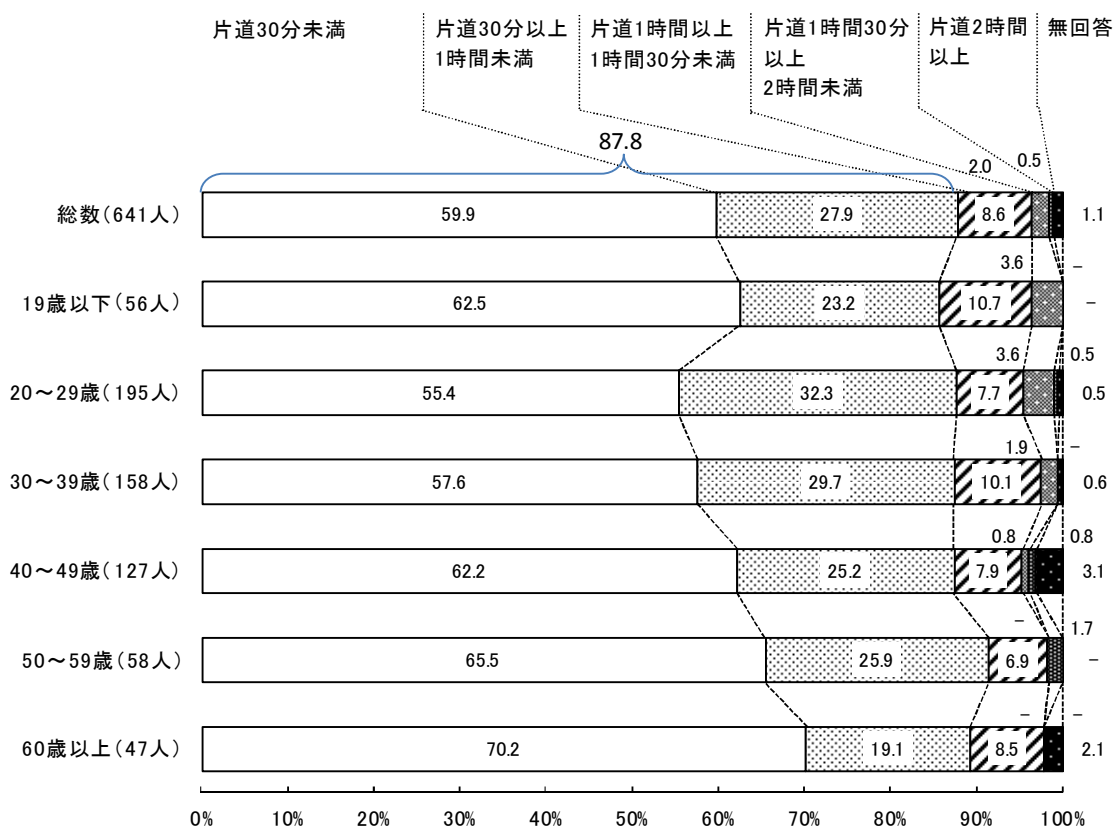
通院に要する片道の時間は1時間未満が87.8%

障害が原因の場合に限らず、すべての病気・ケガ等で通院している人の通院に要する片道の時間は「30分未満（59.9%）」と「30分以上1時間未満（27.9%）」の割合が高くなっており、これらを合わせた「1時間未満」の割合は87.8%となっている。

「30分未満」と答えた割合は60歳以上で7割を超えている。（図Ⅲ-3-2）

問 あなたが通院に要する片道の時間はどれくらいですか。

図Ⅳ-3-2 通院に要する時間一年齢階級別



(3) 通院の際に利用する交通手段〔複数回答〕

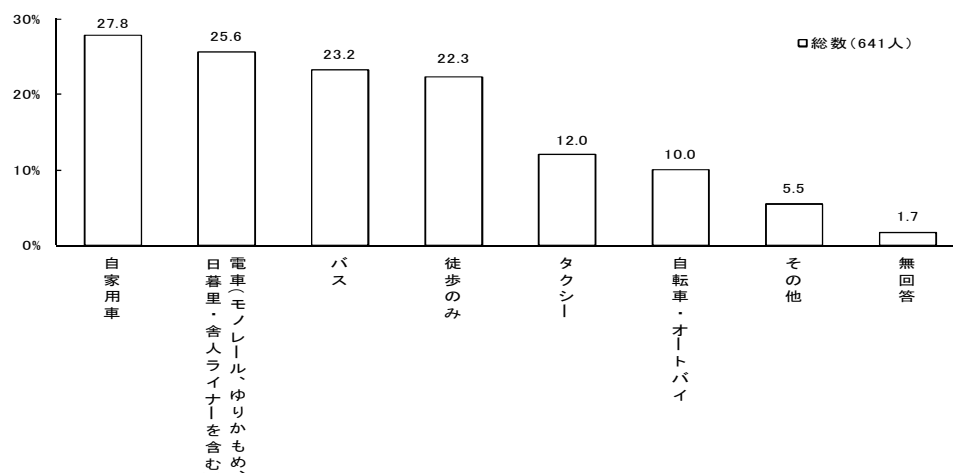
※過去1年間に、病気やケガで医者に診てもらったことがある641人の状況

通院の際に利用する交通手段は「自家用車」の割合が最も高く27.8%

通院の際に利用する交通手段は「自家用車」の割合が最も高く27.8%、次いで「電車（モノレール、ゆりかもめ、日暮里・舎人ライナーを含む）」が25.6%であった。（図Ⅲ-3-3）

問 あなたが通院の際に利用する交通手段は何ですか。

図Ⅲ-3-3 通院の際に利用する交通手段〔複数回答〕



(4) 通院の際に要する交通費

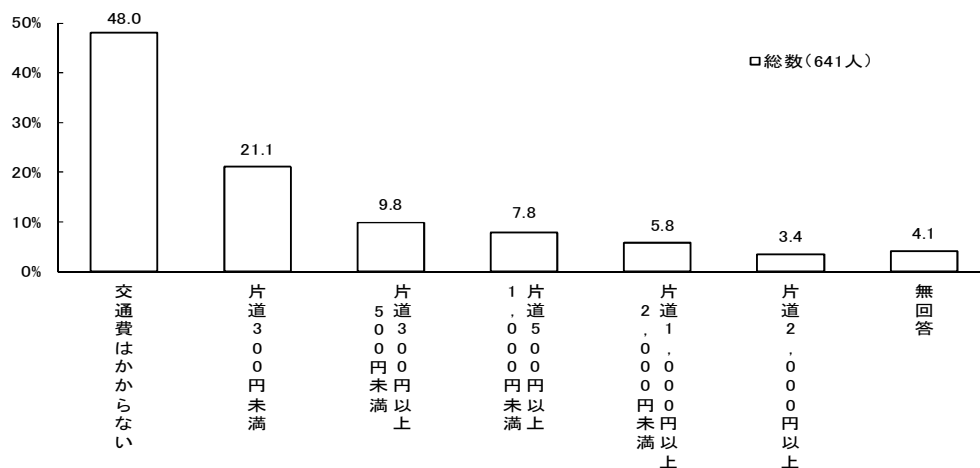
※過去1年間に、病気やケガで医者に診てもらったことがある641人の状況

通院の際に「交通費はかからない」と答えた割合が最も高く48.0%

通院の際に要する交通費は、「交通費はかからない」の割合が最も高く48.0%であった。また、交通費の金額が上昇するほど、その割合は減少している。（図Ⅲ-3-4）

問 あなたが通院の際に要する交通費はどれくらいですか。

図Ⅲ-3-4 通院の際に要する交通費



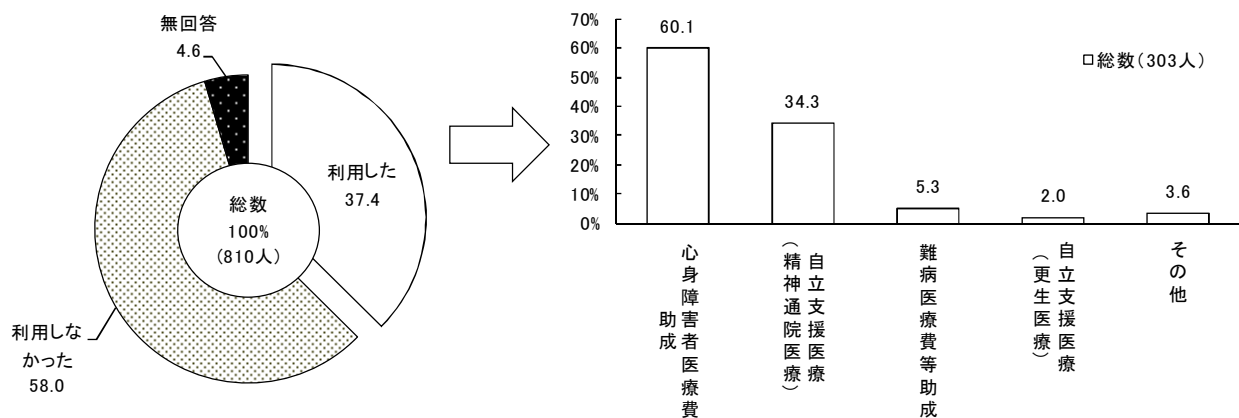
(5) 過去1年間の医療費助成等の利用の有無

か こ ねんかん いりようひじょせいとう りよう わりあい
過去1年間に医療費助成等を「利用した」割合は37.4%

過去1年間に医療費助成等を利用した割合は「利用した」が37.4%、「利用しなかった」が58.0%であった。「利用した」人(303人)のうち、最も割合が高いのは「心身障害者医療費助成」(60.1%)、となっている。(図Ⅲ-3-5)

とい 問 あなたは過去1年間に医療費助成等を利用しましたか。

図Ⅲ-3-5 過去1年間の医療費助成等の利用の有無



(6) 過去1年間の医療費助成等の利用の有無〔複数回答〕一年齢階級、愛の手帳の程度別

過去1年間の医療費助成等の利用の有無について、年齢階級別にみると「利用した」割合は、20代～50代の階級が比較的高い。

愛の手帳の程度別でみると、1度及び2度では「利用した」割合が高く、その大部分が「心身障害者医療費助成」を利用している。(表Ⅲ-3-1)

表Ⅲ-3-1 過去1年間の医療費助成等の利用の有無〔複数回答〕一年齢階級、愛の手帳の程度別

		総 数	利 用 し た	心 身 障 害 者 医 療 費	自 立 支 援 医 療 (更 生 医 療)	自 立 支 援 医 療 (精 神 通 院 医 療)	難 病 医 療 費 等 助 成	そ の 他	利 用 し な か っ た	無 回 答
総数		100.0 (810)	37.4	22.5	0.7	12.8	2.0	1.4	58.0	4.6
年 齢 階 級 別	19歳以下	100.0 (79)	26.6	7.6	—	13.9	2.5	5.1	70.9	2.5
	20～29歳	100.0 (246)	<u>42.7</u>	30.9	1.2	11.4	0.8	0.8	53.3	4.1
	30～39歳	100.0 (195)	<u>39.5</u>	26.2	—	10.3	3.1	1.0	56.9	3.6
	40～49歳	100.0 (159)	<u>37.7</u>	18.2	1.3	16.4	1.3	1.3	56.6	5.7
	50～59歳	100.0 (66)	<u>40.9</u>	18.2	1.5	21.2	4.5	1.5	50.0	9.1
	60歳以上	100.0 (65)	20.0	12.3	—	7.7	1.5	—	75.4	4.6
愛 の 手 帳 の 程 度 別	1度	100.0 (31)	<u>77.4</u>	<u>71.0</u>	3.2	3.2	3.2	—	12.9	9.7
	2度	100.0 (225)	<u>67.6</u>	<u>61.3</u>	0.9	7.1	0.9	0.9	25.8	6.7
	3度	100.0 (183)	23.0	7.1	0.5	13.1	2.2	1.6	76.0	1.1
	4度	100.0 (371)	22.9	2.4	0.5	17.0	2.4	1.6	72.5	4.6

4 日常生活の状況

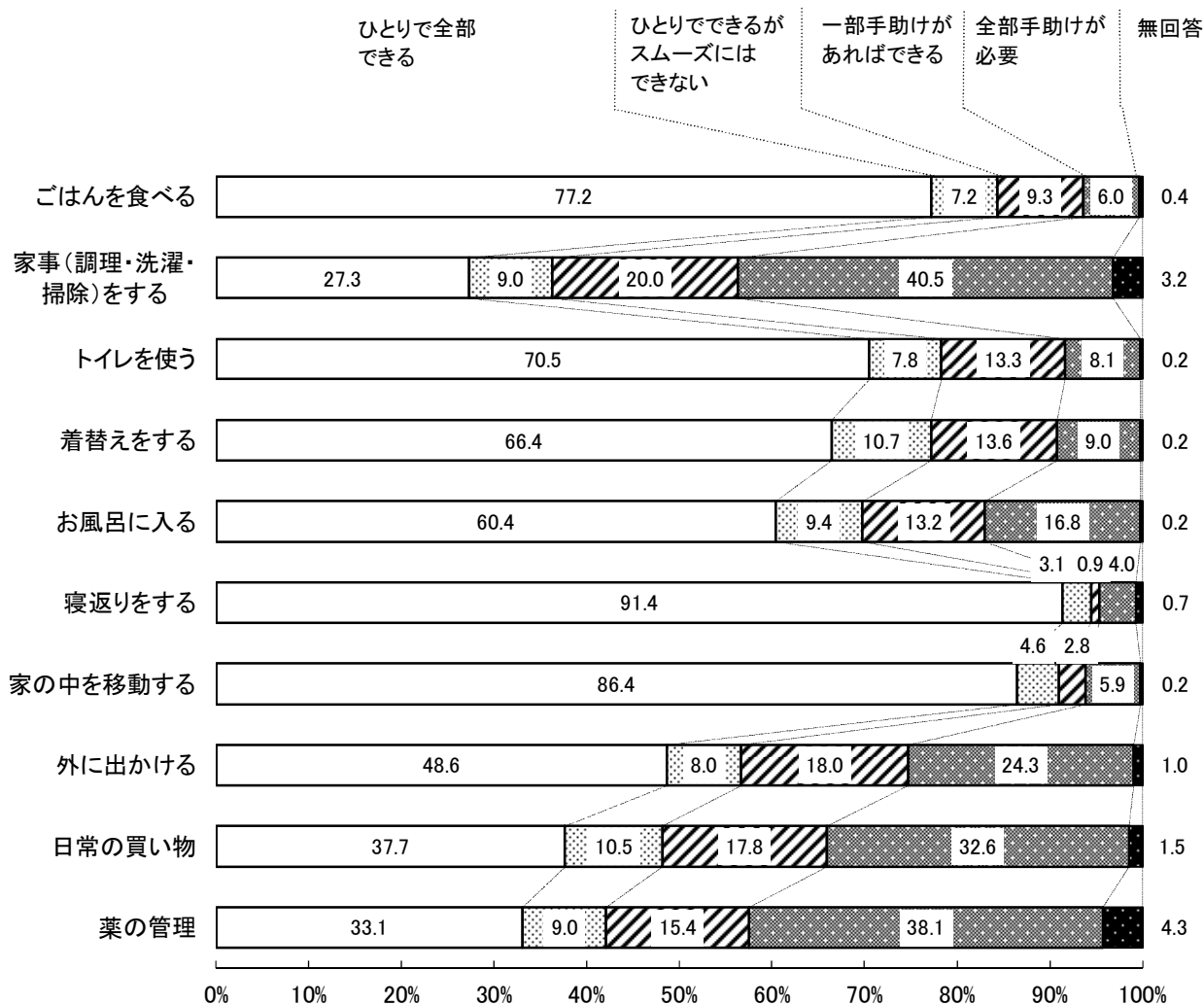
(1) 日常生活動作能力

「全部手助けが必要」の割合が高いのは、家事をする、薬の管理でそれぞれ約4割

10 項目の日常生活動作能力のうち、「ひとりで全部できる」と答えた割合が最も高いのは、寝返りをするが 91.4%、ついで、家の中を移動するが 86.4% である。一方、「全部手助けが必要」の割合は、家事（調理・洗濯・掃除）をする（40.5%）、薬の管理（38.1%）で約 4 割となっている。（図Ⅲ-4-1）

問 あなたは次の動作について、自分一人ですみますか。

図Ⅲ-4-1 日常生活動作能力



(注1) できる、できないの判断について現に補装具等を使用している人は、使用した状態で聞いている。

(注2) 総数は、10 項目とも 810 人である。

(2) 日常生活動作能力 (a ごはんを食べる b 家事 (調理・洗濯・掃除) をする c トイレを使う)
 ー愛の手帳の程度、回答者、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別

日常生活動作能力 (a ごはんを食べる b 家事 (調理・洗濯・掃除) をする c トイレを使う) について愛の手帳の程度別にみると、1 度ではどの動作でも「全部手助けが必要」の割合は 7 割以上となっている。現在一緒に生活している人別にみると、一人で暮らしている人では「a ごはんを食べる」「c トイレを使う」について「ひとりで全部できる」の割合は 8 割を超えているが、「b 家事 (調理・洗濯・掃除) をする」については「ひとりで全部できる」の割合は 53.5% で、「一部手助けがあればできる」と「全部手助けが必要」の割合がそれぞれ 18.6% となっている。(表Ⅲ-4-1)

表Ⅲ-4-1 日常生活動作能力(a ごはんを食べる b 家事 (調理・洗濯・掃除) をする c トイレを使う)
 ー愛の手帳の程度、回答者、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別

		a ごはんを食べる						b 家事 (調理・洗濯・掃除) をする						c トイレを使う					
		総 数	ひ と り で 全 部 で き る	ム 一 人 で 全 部 で き る が い ス	一 部 手 助 け が あ れ ば	全 部 手 助 け が 必 要	無 回 答	総 数	ひ と り で 全 部 で き る	ム 一 人 で 全 部 で き る が い ス	一 部 手 助 け が あ れ ば	全 部 手 助 け が 必 要	無 回 答	総 数	ひ と り で 全 部 で き る	ム 一 人 で 全 部 で き る が い ス	一 部 手 助 け が あ れ ば	全 部 手 助 け が 必 要	無 回 答
総数		100.0 (810)	77.2	7.2	9.3	6.0	0.4	100.0 (810)	27.3	9.0	20.0	40.5	3.2	100.0 (810)	70.5	7.8	13.3	8.1	0.2
愛の手帳の程度別	1度	100.0 (31)	9.7	-	16.1	<u>74.2</u>	-	100.0 (31)	-	3.2	-	<u>96.8</u>	-	100.0 (31)	3.2	3.2	22.6	<u>71.0</u>	-
	2度	100.0 (225)	51.6	14.2	24.0	10.2	-	100.0 (225)	4.4	1.8	12.0	77.8	4.0	100.0 (225)	35.6	12.4	36.0	16.0	-
	3度	100.0 (183)	87.4	6.0	4.9	1.1	0.5	100.0 (183)	20.8	12.6	26.2	35.5	4.9	100.0 (183)	79.8	10.4	7.1	2.2	0.5
	4度	100.0 (371)	93.3	4.0	1.9	0.3	0.5	100.0 (371)	46.6	12.1	23.5	15.6	2.2	100.0 (371)	92.7	4.0	1.9	1.1	0.3
回答者別	本人が回答	100.0 (372)	92.7	4.6	1.6	0.5	0.5	100.0 (372)	45.7	13.4	22.8	16.1	1.9	100.0 (372)	92.2	4.6	1.6	1.3	0.3
	本人以外が回答	100.0 (437)	63.8	9.4	15.8	10.8	0.2	100.0 (437)	11.4	5.3	17.6	61.3	4.3	100.0 (437)	51.9	10.5	23.3	14.0	0.2
現在一緒に生活している人〔複数回答〕別	父親、母親	100.0 (583)	75.8	7.5	9.6	6.7	0.3	100.0 (583)	24.0	9.3	20.6	42.5	3.6	100.0 (583)	69.5	8.2	14.1	8.1	0.2
	夫、妻	100.0 (11)	100.0	-	-	-	-	100.0 (11)	72.7	9.1	-	18.2	-	100.0 (11)	100.0	-	-	-	-
	兄弟姉妹	100.0 (310)	74.5	8.7	10.3	6.5	-	100.0 (310)	21.6	10.6	20.3	44.2	3.2	100.0 (310)	70.3	7.4	15.2	7.1	-
	その他の親族	100.0 (54)	79.6	5.6	5.6	9.3	-	100.0 (54)	11.1	13.0	35.2	40.7	-	100.0 (54)	70.4	7.4	13.0	9.3	-
	一人で暮らしている	100.0 (43)	<u>81.4</u>	11.6	4.7	2.3	-	100.0 (43)	<u>53.5</u>	9.3	<u>18.6</u>	<u>18.6</u>	-	100.0 (43)	<u>88.4</u>	2.3	2.3	7.0	-
	その他	100.0 (69)	84.1	2.9	8.7	2.9	1.4	100.0 (69)	37.7	10.1	27.5	23.2	1.4	100.0 (69)	78.3	7.2	8.7	4.3	1.4

(注 1) 回答者別については、回答者が不明のものは省略した。

(注 2) 「現在一緒に生活している人」は在宅者を対象とした設問のため、総数は 743 人である。

(注 3) 「現在一緒に生活している人」が「子供」については、母集団が少数のため省略した。

(3) 日常生活動作能力 (d 着替えをする e お風呂に入る f 寝返りをする)

－愛の手帳の程度、回答者、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別

日常生活動作能力 (d 着替えをする e お風呂に入る f 寝返りをする) について愛の手帳の程度別にみると、「e お風呂に入る」について「全部手助けが必要」の割合は、1 度が最も高く 90.3% であった。(表Ⅲ-4-2)

表Ⅲ-4-2 日常生活動作能力 (d 着替えをする e お風呂に入る f 寝返りをする)

－愛の手帳の程度、回答者、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別

		d 着替えをする						e お風呂に入る						f 寝返りをする									
		総 数	ひと りで 全部 できる	ム リ に は で き な い	ひと りで で き る	一 部 手 助 け が あ れ ば	全 部 手 助 け が 必 要	無 回 答	総 数	ひと りで 全部 できる	ム リ に は で き る	ひと りで で き る	一 部 手 助 け が あ れ ば	全 部 手 助 け が 必 要	無 回 答	総 数	ひと りで 全部 できる	ム リ に は で き な い	ひと りで で き る	一 部 手 助 け が あ れ ば	全 部 手 助 け が 必 要	無 回 答	
総 数		100.0 (810)	66.4	10.7	13.6	9.0	0.2	100.0 (810)	60.4	9.4	13.2	16.8	0.2	100.0 (810)	91.4	3.1	0.9	4.0	0.7				
愛 の 手 帳 の 程 度 別	1度	100.0 (31)	6.5	3.2	16.1	74.2	-	100.0 (31)	-	6.5	3.2	<u>90.3</u>	-	100.0 (31)	32.3	19.4	3.2	41.9	3.2				
	2度	100.0 (225)	28.4	19.6	32.9	19.1	-	100.0 (225)	18.7	12.4	30.7	38.2	-	100.0 (225)	84.4	6.2	1.8	6.7	0.9				
	3度	100.0 (183)	76.5	11.5	10.4	1.1	0.5	100.0 (183)	68.3	10.9	13.1	7.1	0.5	100.0 (183)	96.7	1.1	-	1.1	1.1				
	4度	100.0 (371)	89.5	5.7	3.2	1.3	0.3	100.0 (371)	86.8	7.0	3.5	2.4	0.3	100.0 (371)	97.8	0.8	0.5	0.5	0.3				
回 答 者 別	本人が回答	100.0 (372)	89.5	7.0	2.7	0.5	0.3	100.0 (372)	86.6	7.0	4.0	2.2	0.3	100.0 (372)	98.4	1.1	-	0.3	0.3				
	本人以外が回答	100.0 (437)	46.7	14.0	22.9	16.2	0.2	100.0 (437)	38.0	11.4	21.1	29.3	0.2	100.0 (437)	85.4	4.8	1.6	7.1	1.1				
現 在 一 緒 に 生 活 し て い る 人 〔 複 数 回 答 〕 別	父親、母親	100.0 (583)	65.5	11.1	13.4	9.8	0.2	100.0 (583)	59.3	9.4	14.1	17.0	0.2	100.0 (583)	91.8	2.6	0.5	4.5	0.7				
	夫、妻	100.0 (11)	81.8	-	18.2	-	-	100.0 (11)	90.9	-	9.1	-	-	100.0 (11)	90.9	9.1	-	-	-				
	兄弟姉妹	100.0 (310)	63.2	13.2	14.2	9.4	-	100.0 (310)	57.4	10.0	15.5	17.1	-	100.0 (310)	93.5	1.3	0.3	4.2	0.6				
	その他の親族	100.0 (54)	64.8	13.0	11.1	11.1	-	100.0 (54)	59.3	11.1	13.0	16.7	-	100.0 (54)	90.7	1.9	-	5.6	1.9				
	一人で暮らしている	100.0 (43)	81.4	4.7	7.0	7.0	-	100.0 (43)	74.4	4.7	11.6	9.3	-	100.0 (43)	93.0	4.7	-	2.3	-				
	その他	100.0 (69)	75.4	7.2	10.1	5.8	1.4	100.0 (69)	72.5	8.7	4.3	13.0	1.4	100.0 (69)	92.8	2.9	-	2.9	1.4				

(注 1) 回答者別については、回答者が不明のものは省略した。

(注 2) 「現在一緒に生活している人」は在宅者を対象とした設問のため、総数は 743 人である。

(注 3) 「現在一緒に生活している人」が「子供」については、母集団が少数のため省略した。

(4) 日常生活動作能力 (g 家の中を移動する h 外に出かける i 日常の買い物 j 薬の管理)

－愛の手帳の程度、回答者、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別

日常生活動作能力 (g 家の中を移動する h 外に出かける i 日常の買い物 j 薬の管理) について愛の手帳の程度別にみると、「h 外に出かける」「i 日常の買い物」「j 薬の管理」について「全部手助けが必要」の割合は、1 度が最も高く 9 割を超えているが、2 度でも「全部手助けが必要」の割合は「h 外に出かける」で 58.2%、「i 日常の買い物」では 77.3%、「j 薬の管理」では 79.1%となっている。(表Ⅲ-4-3)

表Ⅲ-4-3 日常生活動作能力(g 家の中を移動する h 外に出かける i 日常の買い物 j 薬の管理)

－愛の手帳の程度、回答者、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別

		g 家の中を移動する						h 外に出かける								
		総 数	ひ と り で 全 部	に は が ス ム で き な い	ひ と り で で き る	あ ー れ 部 手 助 け が	必 要 全 部 手 助 け が	無 回 答	総 数	ひ と り で 全 部	に は が ス ム で き な い	ひ と り で で き る	あ ー れ 部 手 助 け が	必 要 全 部 手 助 け が	無 回 答	
総数		100.0 (810)	86.4	4.6	2.8	5.9	0.2		100.0 (810)	48.6	8.0	18.0	24.3	1.0		
愛 の 手 帳 の 程 度 別	1度	100.0 (31)	16.1	12.9	9.7	61.3	—		100.0 (31)	—	—	9.7	90.3	—		
	2度	100.0 (225)	75.6	8.4	5.3	10.7	—		100.0 (225)	8.9	5.8	26.2	58.2	0.9		
	3度	100.0 (183)	92.9	2.7	2.2	1.6	0.5		100.0 (183)	46.4	10.9	30.1	10.4	2.2		
	4度	100.0 (371)	95.7	2.4	1.1	0.5	0.3		100.0 (371)	77.9	8.6	7.8	5.1	0.5		
回 答 者 別	本人が回答	100.0 (372)	96.2	2.2	0.8	0.5	0.3		100.0 (372)	72.3	10.2	11.0	5.6	0.8		
	本人以外が回答	100.0 (437)	78.0	6.6	4.6	10.5	0.2		100.0 (437)	28.4	6.2	24.0	40.3	1.1		
人 （ 複 数 回 答 ） 別	父親、母親	100.0 (583)	88.2	3.4	2.1	6.2	0.2		100.0 (583)	48.7	7.2	18.0	25.0	1.0		
	夫、妻	100.0 (11)	90.9	9.1	—	—	—		100.0 (11)	72.7	27.3	—	—	—		
	兄弟姉妹	100.0 (310)	88.7	3.5	2.6	5.2	—		100.0 (310)	45.8	8.4	19.7	25.5	0.6		
	その他の親族	100.0 (54)	87.0	3.7	1.9	7.4	—		100.0 (54)	46.3	14.8	22.2	16.7	—		
	一人で暮らしている	100.0 (43)	83.7	7.0	2.3	7.0	—		100.0 (43)	69.8	11.6	7.0	11.6	—		
	その他	100.0 (69)	91.3	2.9	1.4	2.9	1.4		100.0 (69)	58.0	8.7	17.4	13.0	2.9		
		i 日常の買い物						j 薬の管理								
		総 数	ひ と り で 全 部	に は が ス ム で き な い	ひ と り で で き る	あ ー れ 部 手 助 け が	必 要 全 部 手 助 け が	無 回 答	総 数	ひ と り で 全 部	に は が ス ム で き な い	ひ と り で で き る	あ ー れ 部 手 助 け が	必 要 全 部 手 助 け が	無 回 答	
総数		100.0 (810)	37.7	10.5	17.8	32.6	1.5		100.0 (810)	33.1	9.0	15.4	38.1	4.3		
愛 の 手 帳 の 程 度 別	1度	100.0 (31)	—	—	3.2	96.8	—		100.0 (31)	3.2	—	3.2	93.5	—		
	2度	100.0 (225)	3.1	3.1	14.7	77.3	1.8		100.0 (225)	4.0	2.2	11.1	79.1	3.6		
	3度	100.0 (183)	31.7	15.3	31.1	19.1	2.7		100.0 (183)	25.1	12.6	24.6	30.1	7.7		
	4度	100.0 (371)	64.7	13.5	14.3	6.7	0.8		100.0 (371)	57.1	12.1	14.6	12.7	3.5		
回 答 者 別	本人が回答	100.0 (372)	62.6	13.4	15.3	8.1	0.5		100.0 (372)	56.2	11.0	14.8	13.7	4.3		
	本人以外が回答	100.0 (437)	16.2	8.0	19.9	53.5	2.3		100.0 (437)	13.3	7.3	16.0	59.0	4.3		
人 （ 複 数 回 答 ） 別	父親、母親	100.0 (583)	36.7	10.8	17.8	33.1	1.5		100.0 (583)	32.6	9.1	15.6	37.7	5.0		
	夫、妻	100.0 (11)	63.6	18.2	18.2	—	—		100.0 (11)	81.8	—	9.1	9.1	—		
	兄弟姉妹	100.0 (310)	32.6	12.3	19.0	35.2	1.0		100.0 (310)	29.4	8.1	17.1	40.6	4.8		
	その他の親族	100.0 (54)	33.3	16.7	22.2	27.8	—		100.0 (54)	31.5	11.1	20.4	33.3	3.7		
	一人で暮らしている	100.0 (43)	58.1	14.0	14.0	11.6	2.3		100.0 (43)	62.8	7.0	7.0	16.3	7.0		
	その他	100.0 (69)	50.7	13.0	14.5	20.3	1.4		100.0 (69)	34.8	14.5	24.6	24.6	1.4		

(注 1) 回答者別については、回答者が不明のものは省略した。

(注 2) 「現在一緒に生活している人」は在宅者を対象とした設問のため、総数は 743 人である。

(注 3) 「現在一緒に生活している人」が「子供」については、母集団が少数のため省略した。

5 就労の状況

(1) 収入を伴う仕事の有無（調査基準日現在）一年齢階級、愛の手帳の程度別

「福祉的就労をしている（就労継続支援A型・B型、就労移行支援）」割合が34.1%、「仕事をしている」割合が28.1%

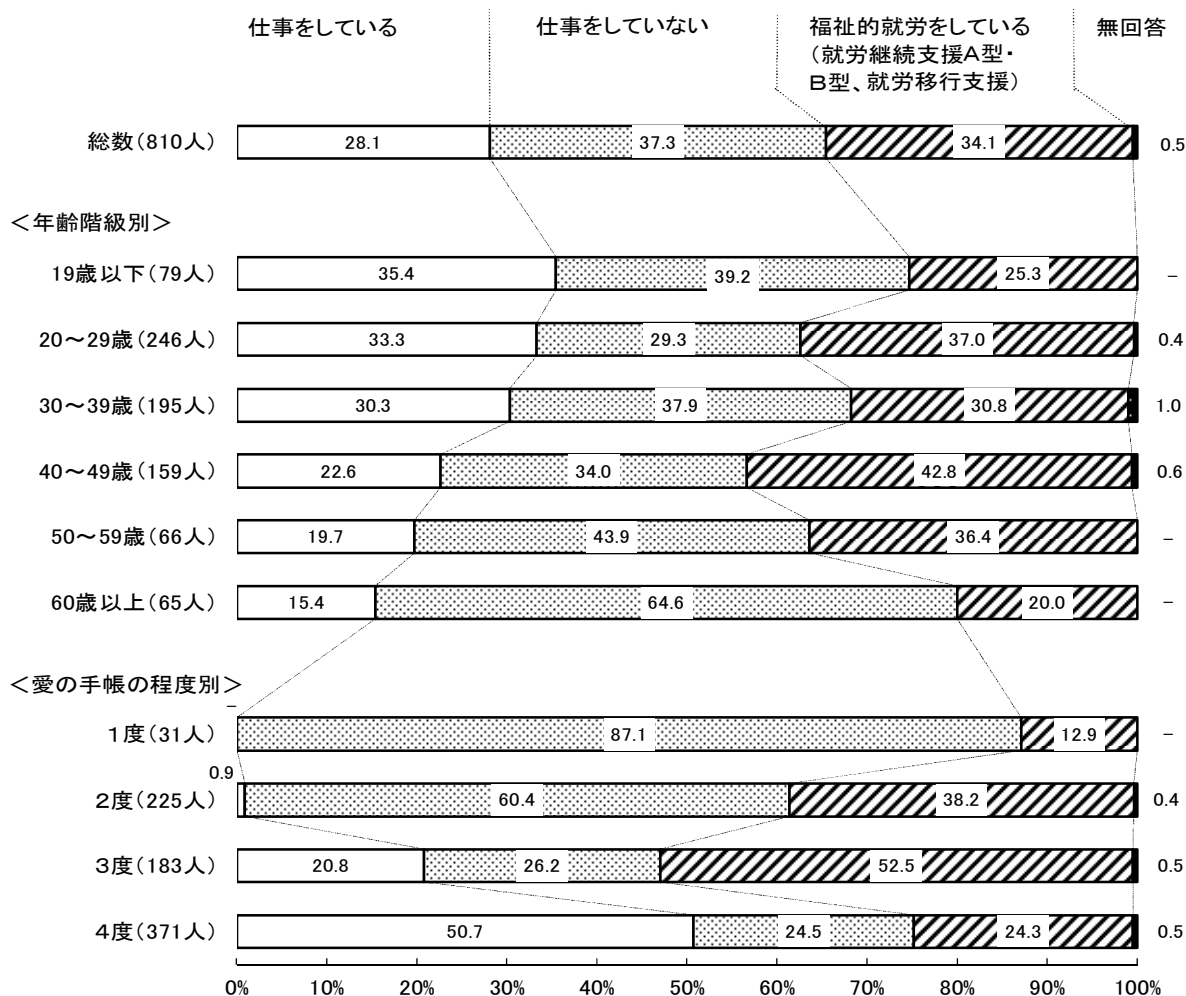
調査基準日現在、収入を伴う仕事をしているか聞いたところ、「福祉的就労をしている（就労継続支援A型・B型、就労移行支援）」割合は34.1%、「仕事をしている」割合は28.1%、「仕事をしていない」が37.3%であった。

年齢階級別にみると「仕事をしている」割合は、年齢が高くなるにつれて減少している。また、「福祉的就労をしている」割合は、40代で最も高く42.8%となっている。

愛の手帳の程度別にみても、4度では「仕事をしている」割合は50.7%、3度では「福祉的就労をしている」割合は52.5%とそれぞれ最も高くなっている。（図Ⅲ-5-1）

問 あなたは平成25年10月16日（調査基準日）現在、収入を伴う仕事をしていますか。

図Ⅲ-5-1 収入を伴う仕事の有無（調査基準日現在）一年齢階級、愛の手帳の程度別



(注) 20年度調査とは選択肢が異なるため、比較は行わない。

(2) 仕事の種類〔複数回答〕一年齢階級、愛の手帳の程度別

※調査基準日現在「仕事をしている」と回答した人 228 人が対象

「非正規の職員・従業員」の割合が最も高く 71.9%、「正規の職員・従業員」の割合は 22.8%

仕事の種類を聞いたところ、「非正規の職員・従業員(パート・アルバイト・日雇等(契約職員・派遣職員を含む))」の割合が最も高く 71.9%、次いで「正規の職員・従業員」の割合が 22.8%であった。

年齢階級別にみると、「正規の職員・従業員」の割合は 40 代で最も高く 27.8%、次いで 30 代で 27.1%となっている。また、「非正規の職員・従業員」の割合は、すべての年代で 6 割 (61.1～76.8%) を超えている。(表Ⅲ-5-1)

問 仕事の種類は何ですか。

表Ⅲ-5-1 仕事の種類〔複数回答〕一年齢階級、愛の手帳の程度別

		総 数	正 規 の 職 員 ・ 従 業 員	会 社 等 の 役 員	約 職 員 ・ 派 遣 職 員 を 含 む (契 約 ・ 非 正 規 の 職 員 ・ パ ー ト ・ ア ル バ イ ト ・ 日 雇 等)	自 営 業	家 業 の 手 伝 い	内 職	そ の 他	無 回 答
総数		100.0 (228)	22.8	1.3	71.9	0.9	0.9	0.4	-	1.8
年 齢 階 級 別	19歳以下	100.0 (28)	25.0	-	71.4	-	-	-	-	3.6
	20～29歳	100.0 (82)	19.5	1.2	76.8	-	1.2	-	-	1.2
	30～39歳	100.0 (59)	27.1	-	72.9	-	-	-	-	-
	40～49歳	100.0 (36)	27.8	2.8	61.1	2.8	2.8	-	-	2.8
	50～59歳	100.0 (13)	15.4	-	69.2	7.7	-	-	-	7.7
	60歳以上	100.0 (10)	10.0	10.0	70.0	-	-	10.0	-	-
の 愛 程 の 度 手 帳 別	3度	100.0 (38)	21.1	-	76.3	-	2.6	-	-	-
	4度	100.0 (188)	23.4	1.6	71.3	1.1	0.5	0.5	-	1.6

(注1) 愛の手帳の程度が1度は、該当者がいないため省略した。

(注2) 愛の手帳の程度が2度は、母集団が2人のため省略した。

(3) 1週間の就労日数－愛の手帳の程度、仕事の種類〔複数回答〕別

※調査基準日現在「仕事をしている」と回答した人 228 人が対象

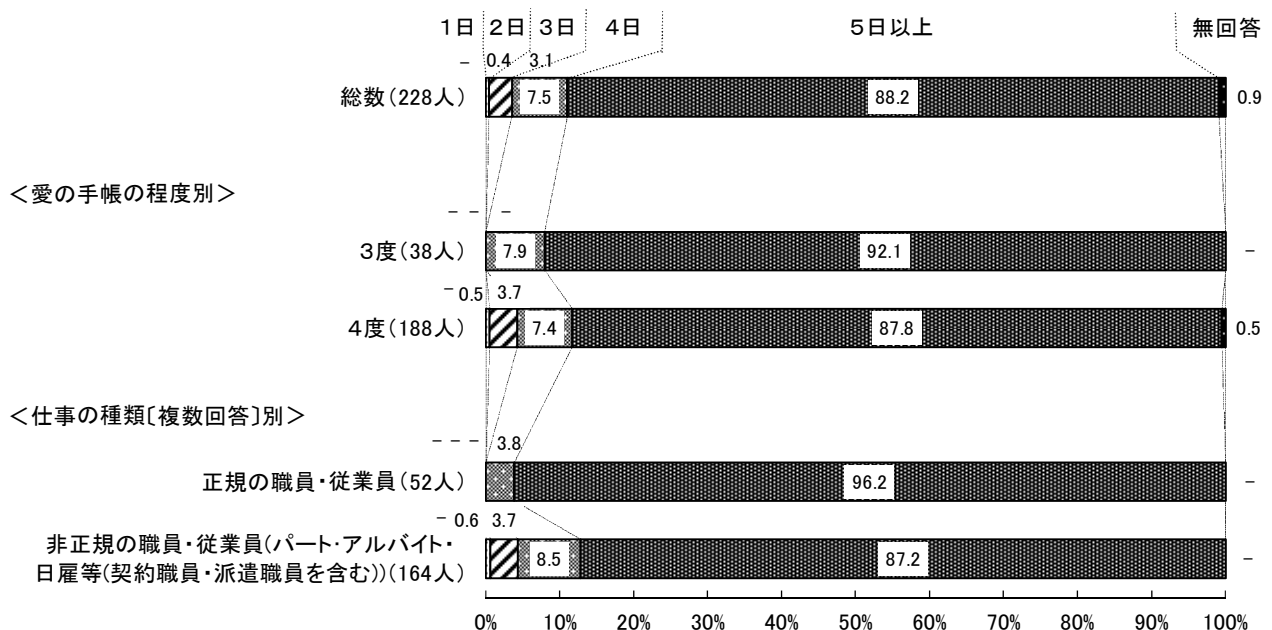
1週間の就労日数は「5日以上」が88.2%

1週間の就労日数を聞いたところ、最も高い割合は「5日以上」の88.2%であった。

仕事の種類別にみると、正規の職員・従業員（96.2%）、及び非正規の職員・従業員（パート・アルバイト・日雇等（契約職員・派遣職員を含む））（87.2%）のいずれも、「5日以上」の割合が最も高く、8割を超えている。（図Ⅲ-5-2）

問 1週間の就労日数はどのくらいですか。

図Ⅲ-5-2 1週間の就労日数－愛の手帳の程度、仕事の種類〔複数回答〕別



(注1) 愛の手帳の程度が1度は、該当者がいないため省略した。

(注2) 愛の手帳の程度が2度は、母集団が2人のため省略した。

(注3) 仕事の種類が「会社等の役員」「自営業」「家業の手伝い」「内職」については、母集団が少数のため省略した。

(4) 1週間の労働時間―愛の手帳の程度、仕事の種類〔複数回答〕別

※調査基準日現在「仕事をしている」と回答した人 228 人が対象

1週間の労働時間で最も割合が高いのは「30～40時間未満」で 42.5%

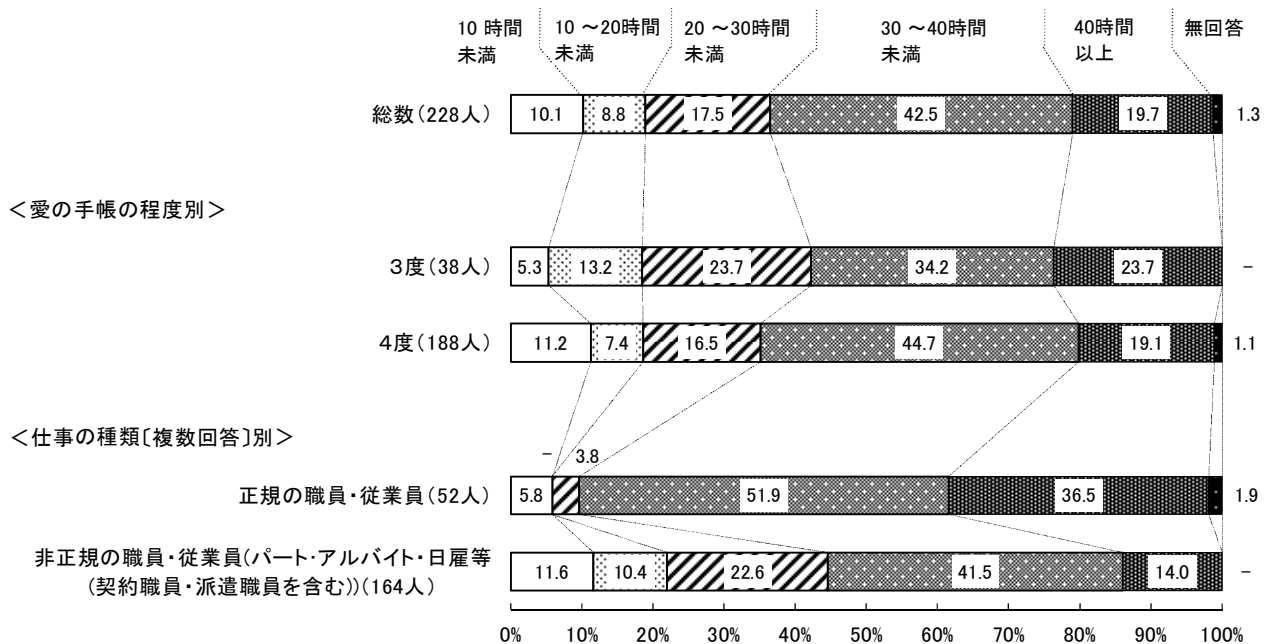
1週間の労働時間をみると「30～40 時間未満」の割合が最も高く 42.5%、次いで「40 時間以上」が 19.7%であった。

愛の手帳の程度別にみると、3 度、4 度のいずれも「30～40 時間未満」の割合が最も高くなっている。(3 度 34.2%、4 度 44.7%)

仕事の種類別にみると、「正規の職員・従業員」では「30～40 時間未満」が最も高く 51.9%、次いで「40 時間以上」が 36.5%と続くが、非正規の職員・従業員（パート・アルバイト・日雇等(契約職員・派遣職員を含む)）では「30～40 時間以上」が 41.5%、次いで「20～30 時間未満」が 22.6%と続いている。(図Ⅲ-5-3)

問 1週間の労働時間はどのくらいですか。

図Ⅲ-5-3 1週間の労働時間―愛の手帳の程度、仕事の種類〔複数回答〕別



(注1) 愛の手帳の程度が1度は、該当者がいないため省略した。

(注2) 愛の手帳の程度が2度は、母集団が2人のため省略した。

(注3) 仕事の種類が「会社等の役員」「自営業」「家業の手伝い」「内職」については、母集団が少数のため省略した。

(5) 就職をするために支援を受けたところ（人）

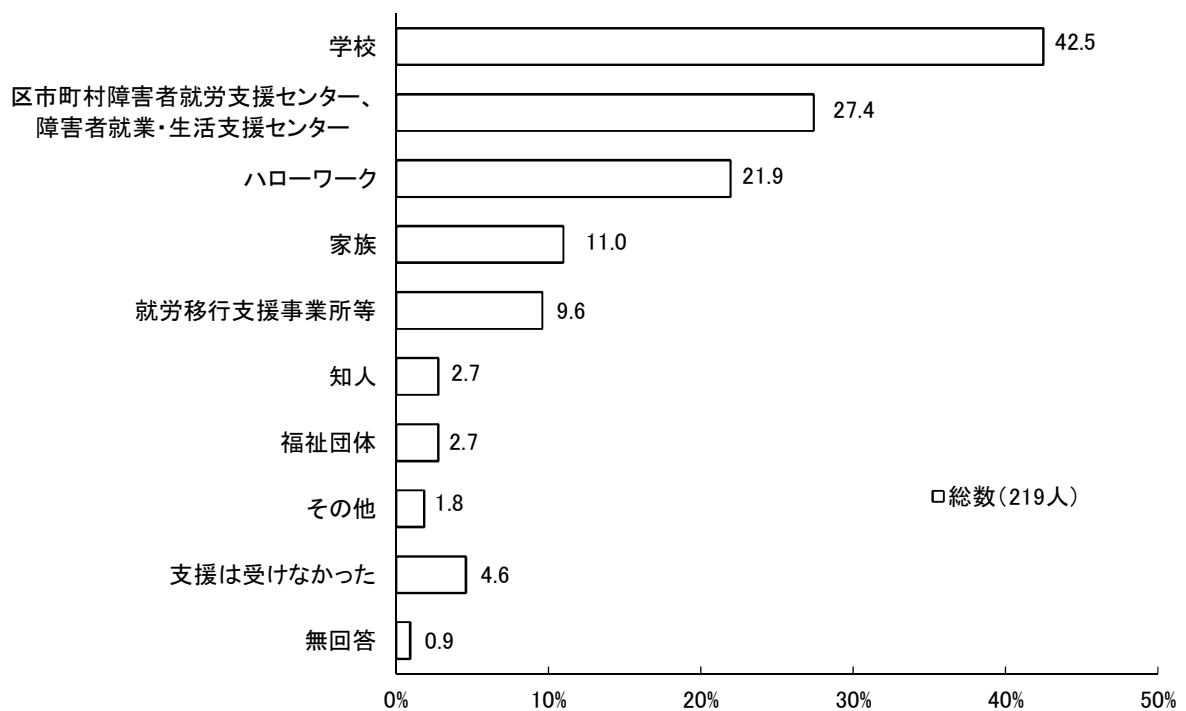
※仕事の種類が正規の職員・従業員、会社等の役員、非正規の職員・従業員（パート・アルバイト・日雇等（契約職員、派遣職員を含む））である 219 人が対象

就 職 をするのために支援を受けたところは「学校」の割合が最も高い

就職をするために、どこ（誰）の支援を受けて仕事に就いたか聞いたところ、最も割合が高かったのは「学校」で 42.5%、次いで「区市町村障害者就労支援センター、障害者就業・生活支援センター」27.4%、「ハローワーク」21.9%と続いた。（図Ⅲ-5-4）

問 どこ（誰）の支援を受けて現在の仕事に就きましたか。

図Ⅲ-5-4 就職をするために支援を受けたところ（人）



(6) 現在の仕事に就いてからの期間一年齢階級、仕事の種類〔複数回答〕別

※仕事の種類が正規の職員・従業員、会社等の役員、非正規の職員・従業員（パート・アルバイト・日雇等（契約職員、派遣職員を含む））である 219 人が対象

現在の仕事に就いてからの期間は「5年以上」の割合が約5割

仕事に就いてからの期間を聞いたところ、最も高い割合は「10 年以上」の 28.3%、次いで「1 年以上 3 年未満」が 23.3%、「5 年以上 10 年未満」が 21.5%となっている。5 年以上の割合を合計すると 49.8%と約 5 割であった。

年齢階級別にみると、40 歳以上では「10 年以上」の割合が 5 割を超えている(57.6%、55.0%)。

仕事の種類別にみると、正規の職員・従業員では「10 年以上」の割合が最も高く 42.3%、非正規の職員・従業員は「1 年以上 3 年未満」が 27.4%と最も高くなっている。(表Ⅲ-5-2)

問 現在の仕事に就いてからの期間はどれくらいですか。

表Ⅲ-5-2 現在の仕事に就いてからの期間一年齢階級、仕事の種類〔複数回答〕別

		総 数	3 か 月 未 満	3 か 月 以 上 6 か 月 未 満	6 か 月 以 上 1 年 未 満	1 年 以 上 3 年 未 満	3 年 以 上 5 年 未 満	5 年 以 上 1 0 年 未 満	1 0 年 以 上	無 回 答
総数		100.0 (219)	2.3	1.4	8.7	23.3	13.7	21.5	28.3	0.9
								49.8		
年 齢 階 級 別	19歳以下	100.0 (27)	-	3.7	51.9	44.4	-	-	-	-
	20～29歳	100.0 (80)	2.5	1.3	5.0	28.8	23.8	31.3	6.3	1.3
	30～39歳	100.0 (59)	3.4	1.7	-	15.3	6.8	25.4	45.8	1.7
	40～49歳	100.0 (33)	3.0	-	3.0	15.2	9.1	12.1	57.6	-
	50歳以上	100.0 (20)	-	-	-	10.0	20.0	15.0	55.0	-
回 答 の 複 数 別	正規の職員・従業員	100.0 (52)	1.9	3.8	7.7	9.6	17.3	15.4	42.3	1.9
	非正規の職員・従業員(パート・アルバイト・日雇等(契約職員・派遣職員を含む))	100.0 (164)	2.4	0.6	9.1	27.4	12.8	23.8	23.2	0.6

(注) 仕事の種類が「会社等の役員」については、母集団が少数のため省略した。

(7) 仕事をしていく上で困ること〔3つまでの複数回答〕

一年齢階級、愛の手帳の程度、回答者別

※仕事の種類が正規の職員・従業員、会社等の役員、非正規の職員・従業員（パート・アルバイト・日雇等（契約職員、派遣職員を含む））である 219 人が対象

仕事をしていく上で困ることは「言いたいことの内容が相手に通じない」で 28.8%

仕事をしていく上で「困ることがある」と答えた割合は 57.1%、「困ることは特にない」は 41.6%であった。困ることの内容は、「言いたいことの内容が相手に通じない」の割合が 28.8%で最も高い。

年齢階級別にみると、「言いたいことの内容が相手に通じない」の割合は、40代（39.4%）で高くなっている。（表Ⅲ-5-3）

問 仕事をしていく上で困ることは何ですか。

表Ⅲ-5-3 仕事をしていく上で困ること〔3つまでの複数回答〕

一年齢階級、愛の手帳の程度、回答者別

		総数	困ることがある	仕事の内容	人間関係（職場内でのいじめなど）	相手に対して、言いたい内容が伝わらない	言いたいことの内容が相手に通じない	職場の物理的な不十分（バリアフリーの化）	勤務時間・日数	通勤距離・時間	通勤時の混雑	定期的な通院や健康管理との両立	急な体調の変化への配慮がない	その他	困ることは特にない	無回答
総数		100.0 (219)	57.1	8.7	24.2	27.9	28.8	0.9	6.8	5.0	6.4	2.3	5.5	3.7	41.6	1.4
年齢階級別	19歳以下	100.0 (27)	59.3	7.4	25.9	29.6	25.9	-	3.7	18.5	14.8	-	-	3.7	40.7	-
	20～29歳	100.0 (80)	60.0	10.0	28.8	33.8	32.5	1.3	6.3	2.5	6.3	2.5	3.8	2.5	37.5	2.5
	30～39歳	100.0 (59)	54.2	8.5	16.9	18.6	18.6	1.7	6.8	3.4	1.7	1.7	8.5	6.8	44.1	1.7
	40～49歳	100.0 (33)	57.6	6.1	24.2	33.3	39.4	-	9.1	-	9.1	6.1	9.1	3.0	42.4	-
	50歳以上	100.0 (20)	50.0	10.0	25.0	20.0	30.0	-	10.0	10.0	5.0	-	5.0	-	50.0	-
愛の手帳の度別	3度	100.0 (37)	67.6	10.8	21.6	35.1	37.8	2.7	8.1	2.7	-	2.7	10.8	2.7	32.4	-
	4度	100.0 (181)	55.2	8.3	24.9	26.5	27.1	0.6	6.6	5.5	7.7	2.2	4.4	3.9	43.1	1.7
回答者別	本人が回答	100.0 (173)	53.8	8.1	23.7	25.4	26.0	-	6.9	5.2	8.1	2.3	6.4	2.9	45.1	1.2
	本人以外が回答	100.0 (46)	69.6	10.9	26.1	37.0	39.1	4.3	6.5	4.3	-	2.2	2.2	6.5	28.3	2.2

(注1) 愛の手帳の程度が1度は、該当者がいないため省略した。

(注2) 愛の手帳の程度が2度は、母集団が2人のため省略した。

(注3) 回答者別については、回答者が不明のものは省略した。

(8) 仕事で困ったときの相談先〔複数回答〕

一年齢階級、愛の手帳の程度、仕事の種類〔複数回答〕別

※仕事の種類が正規の職員・従業員、会社等の役員、非正規の職員・従業員（パート・アルバイト・日雇等（契約職員、派遣職員を含む））である 219 人が対象

仕事で困ったときの相談先は「^{しごと}会社の上^{こま}司」（48.9%）、「^{かぞく}家族」（44.3%）の割合が高い

仕事で困ったときの相談先は「会社の上司」（48.9%）及び「家族」（44.3%）の割合が高くなっている。

仕事の種類別にみると正規の職員・従業員では「会社の上司」の割合が 57.7%と最も高く、非正規の職員・従業員では「家族」の割合が 51.8%で最も高い。（表Ⅲ-5-4）

問 ^{しごと}仕事で困ったことがあったとき、^{だれ}誰に相談しますか。

表Ⅲ-5-4 仕事で困ったときの相談先〔複数回答〕

一年齢階級、愛の手帳の程度、仕事の種類〔複数回答〕別

		総 数	会 社 の 上 司	会 社 の 同 僚	職 場 に 派 遣 さ れ た ジ ョ ブ コ ー チ	就 労 支 援 セ ン タ ー 等 の 職 員	家 族	会 社 の 同 僚 以 外 の 友 人	施 設 の 職 員 、 グ ル ー プ の 世 話 人 等	出 身 校 の 教 員	そ の 他	相 談 す る 相 手 は い な い	今 ま で 特 に 困 っ た こ と は な い	無 回 答
総数		100.0 (219)	48.9	20.5	5.9	22.8	44.3	6.4	12.8	5.5	3.7	2.7	10.0	1.4
年 齢 階 級 別	19歳以下	100.0 (27)	55.6	22.2	7.4	14.8	55.6	3.7	7.4	14.8	3.7	-	14.8	-
	20～29歳	100.0 (80)	53.8	17.5	5.0	32.5	50.0	7.5	11.3	7.5	3.8	3.8	6.3	1.3
	30～39歳	100.0 (59)	44.1	18.6	10.2	20.3	39.0	3.4	15.3	1.7	6.8	5.1	8.5	-
	40～49歳	100.0 (33)	48.5	21.2	3.0	15.2	30.3	9.1	18.2	3.0	-	-	15.2	3.0
	50歳以上	100.0 (20)	35.0	35.0	-	15.0	45.0	10.0	10.0	-	-	-	15.0	5.0
程 度 別	3度	100.0 (37)	62.2	21.6	10.8	24.3	45.9	2.7	13.5	5.4	2.7	-	13.5	-
	4度	100.0 (181)	46.4	20.4	5.0	22.7	44.2	7.2	12.7	5.5	3.9	3.3	8.8	1.7
「 複 数 回 答 」 別	正規の職員・従業員	100.0 (52)	57.7	21.2	3.8	9.6	19.2	5.8	13.5	1.9	-	1.9	15.4	1.9
	非正規の職員・従業員 (パート・アルバイト・ 日雇等(契約職員・ 派遣職員を含む))	100.0 (164)	47.0	20.7	6.7	26.8	51.8	6.7	12.8	6.1	4.9	3.0	8.5	1.2

(注1) 愛の手帳の程度が1度は、該当者がいないため省略した。

(注2) 愛の手帳の程度が2度は、母集団が2人のため省略した。

(注3) 仕事の種類が「会社等の役員」については、母集団が少数のため省略した。

(9) 福祉的就労経験の有無－仕事の種類〔複数回答〕別

※仕事の種類が正規の職員・従業員、会社等の役員、非正規の職員・従業員（パート・アルバイト・日雇等（契約職員、派遣職員を含む））である 219 人が対象

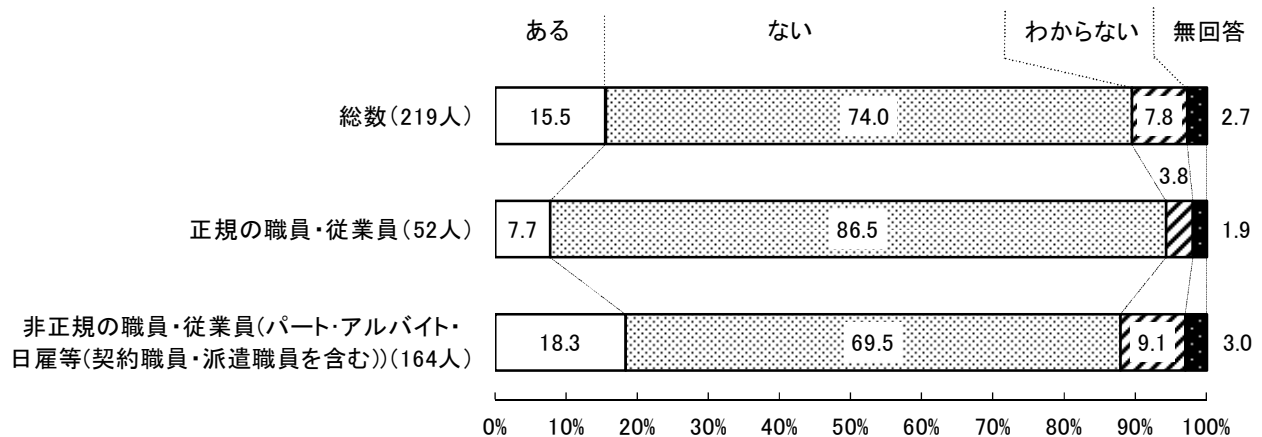
これまでに、^{ふくしてきしゅうろう}福祉的就労をしたことがある^{せいき}正規、^{ひせいき}非正規の^{しよくいんとう}職員等^{わりあい}の割合は 15.5%

これまでに、福祉的就労をしたことがあるか聞いたところ、「ある」が 15.5%、「ない」が 74.0%であった。

仕事の種類別にみると「ある」と答えた割合は、正規の職員・従業員が 7.7%、非正規の職員・従業員が 18.3%となっている。（図Ⅲ-5-5）

問 これまでに、^{ふくしてきしゅうろう}福祉的就労をしたことがありますか。

図Ⅲ-5-5 福祉的就労経験の有無－仕事の種類〔複数回答〕別



(注) 仕事の種類が「会社等の役員」については、母集団が少数のため省略した。

(10) 現在、仕事をしていない理由、又は福祉的就労をしている理由〔3つまでの複数回答〕

一年齢階級、愛の手帳の程度、収入を伴う仕事の有無、回答者別

※仕事をしていない、又は福祉的就労をしている（就労継続支援A型・B型、就労移行支援）

578 人が対象

現在、仕事をしていない理由、又は福祉的就労をしている理由は「健康・体力上の理由（病気等を含む）」の割合が最も高く40.5%、次いで「受け入れてくれる職場がないため」が29.9%

現在、仕事をしていない理由、又は福祉的就労をしている理由を聞いたところ、「健康・体力上の理由（病気等を含む）」の割合が最も高く40.5%、次いで「受け入れてくれる職場がないため」が29.9%であった。

障害の程度別にみると、3度では「受け入れてくれる職場がないため」の割合が42.4%と、他の障害の程度に比べて高くなっている。

また収入を伴う仕事の有無別にみると、福祉的就労をしている人では「受け入れてくれる職場がないため」の割合が高く、42.4%となっている。（表Ⅲ-5-5）

問 現在、仕事をしていない理由は何ですか。

表Ⅲ-5-5 現在、仕事をしていない理由、又は福祉的就労をしている理由〔3つまでの複数回答〕

一年齢階級、愛の手帳の程度、収入を伴う仕事の有無、回答者別

		総数	自分にあつた仕事がない	健康・体力上の理由（病気等を含む）	会社倒産、人員整理など	家庭の都合（結婚、育児、介護など）	高齢のため（定年を含む）	人間関係が難しい	学校などで勉強しているため	職場が受け入れてくれないため	働く必要がないため	働きたくないため	その他	無回答
総数		100.0 (578)	20.9	40.5	1.9	1.9	4.0	21.1	3.1	29.9	1.7	2.6	17.1	9.9
年齢階級別	19歳以下	100.0 (51)	17.6	15.7	-	2.0	-	17.6	33.3	33.3	-	2.0	13.7	7.8
	20～29歳	100.0 (163)	20.9	39.3	1.2	1.2	-	20.9	0.6	30.7	1.2	1.8	22.7	12.3
	30～39歳	100.0 (134)	20.9	40.3	0.7	3.0	-	19.4	-	32.1	2.2	3.0	17.9	12.7
	40～49歳	100.0 (122)	20.5	45.9	1.6	1.6	-	27.9	-	32.0	1.6	2.5	15.6	9.0
	50～59歳	100.0 (53)	32.1	41.5	5.7	1.9	3.8	20.8	-	34.0	1.9	3.8	17.0	5.7
	60歳以上	100.0 (55)	14.5	54.5	5.5	1.8	38.2	14.5	-	10.9	3.6	3.6	5.5	3.6
愛の手帳の程度別	1度	100.0 (31)	6.5	67.7	-	-	3.2	3.2	3.2	16.1	3.2	-	9.7	22.6
	2度	100.0 (222)	18.5	39.2	-	-	1.4	16.2	2.3	26.6	1.4	2.3	30.2	7.2
	3度	100.0 (144)	22.2	36.8	2.8	2.1	1.4	24.3	2.1	42.4	2.8	1.4	11.1	10.4
	4度	100.0 (181)	25.4	40.3	3.9	4.4	9.4	27.6	5.0	26.5	1.1	4.4	7.2	10.5
収入を伴う仕事の有無別	仕事をしていない	100.0 (302)	15.6	46.4	1.3	3.6	6.0	16.9	5.3	18.5	2.3	3.6	20.9	6.0
	福祉的就労をしている（就労継続支援A型・B型、就労移行支援）	100.0 (276)	26.8	34.1	2.5	-	1.8	25.7	0.7	42.4	1.1	1.4	13.0	14.1
回答者別	本人が回答	100.0 (194)	26.3	38.7	4.1	4.1	5.2	23.7	3.6	31.4	1.5	3.6	10.3	10.3
	本人以外が回答	100.0 (383)	18.3	41.5	0.8	0.8	3.4	19.8	2.9	29.2	1.8	2.1	20.6	9.4

（注）回答者別については、回答者が不明のものは省略した。

(11) 会社等での就労経験の有無－愛の手帳の程度、収入を伴う仕事の有無別

※仕事をしていない、又は福祉的就労をしている(就労継続支援A型・B型、就労移行支援)
578人が対象

過去、会社等で働いたこと(パート、アルバイト等を含む)が「ある」割合は24.6%

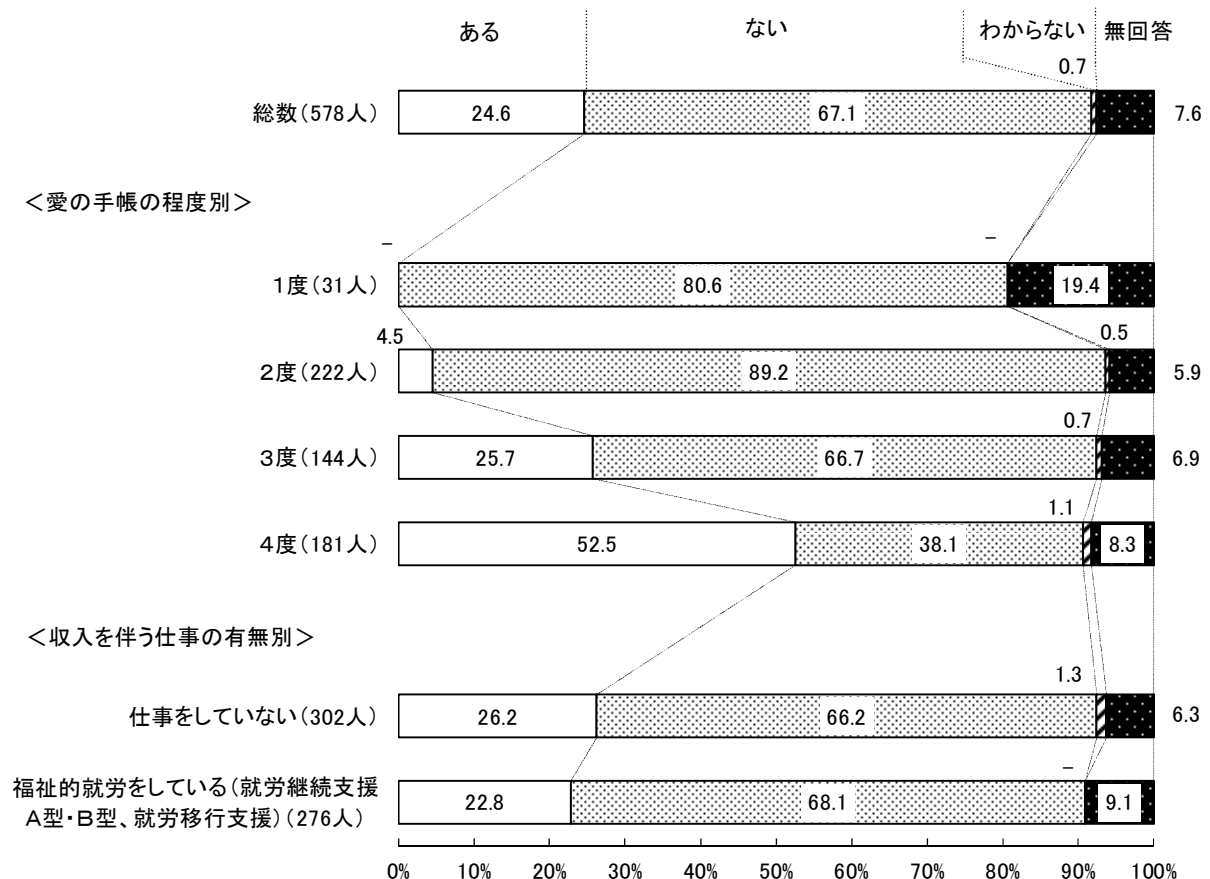
過去に会社等で働いたこと(パート、アルバイト等を含む。)が「ある」と答えた割合は24.6%、「ない」は67.1%であった。

愛の手帳の程度別にみると、過去、会社等で働いたことが「ある」という人の割合は、程度が軽くなるにつれて高くなり、4度では52.5%と5割を超えている。

収入を伴う仕事の有無別にみると、過去、会社等で働いたことが「ある」という人の割合は、仕事をしていない人で26.2%、福祉的就労をしている人(就労継続支援A型・B型、就労移行支援)では22.8%となっている。(図Ⅲ-5-6)

問 あなたは、過去、会社等で働いたこと(パート、アルバイト等を含む)がありますか。

図Ⅲ-5-6 会社等での就労経験の有無－愛の手帳の程度、収入を伴う仕事の有無別



- (12) 会社等での就労意向の有無一年齢階級、愛の手帳の程度、回答者、収入を伴う仕事の有無別
 ※仕事をしていない、又は福祉的就労をしている（就労継続支援A型・B型、就労移行支援）
 578 人が対象

今後、会社等で働きたい（パート、アルバイト等を含む）割合は 19.7%

仕事をしていない、又は福祉的就労をしている人（578 人）に、今後、会社等で働きたいか聞いたところ、「はい」と答えた割合は 19.7%、「いいえ」は 50.7%、「わからない」は 19.7%であった。

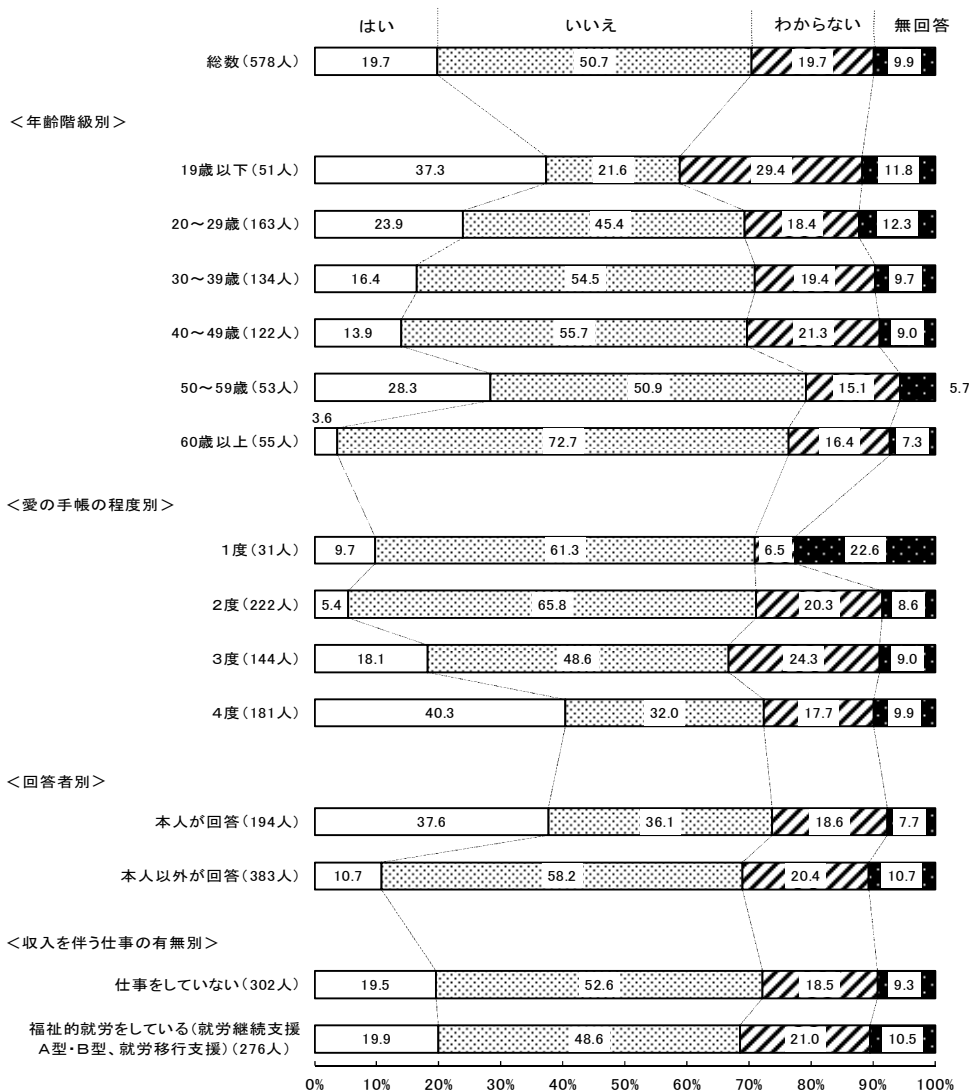
愛の手帳の程度別にみると「はい」と答えた割合は、4 度で 40.3%と総数（19.7%）よりも高い。

回答者別にみると「はい」の割合は、「本人が回答」が 37.6%と高くなっている。（図Ⅲ-5-7）

問 今後、会社等で働きたい（パート、アルバイト等を含む。）と思いますか。

図Ⅲ-5-7 会社等での就労意向の有無

一年齢階級、愛の手帳の程度、回答者、収入を伴う仕事の有無別



(注) 回答者別については、回答者が不明のものは省略した。

(13) 会社等で働くにあたって、心配なこと（課題）

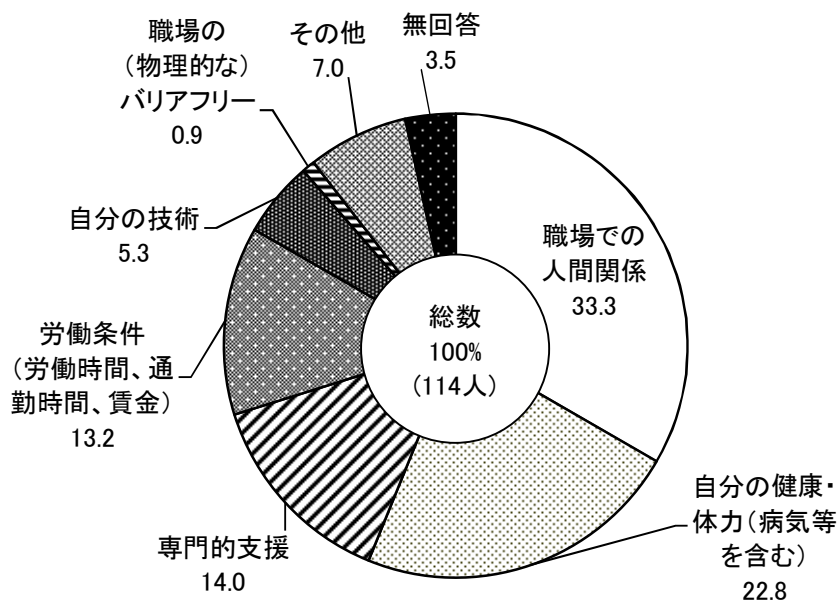
※仕事をしていない、又は福祉的就労をしている（就労継続支援A型・B型、就労移行支援）人の中で、今後、会社等で働きたい（パート、アルバイト等を含む）と答えた114人が対象

会社等^{かいしゃとう}で働く^{はたら}にあたって、心配^{しんぱい}なことは「職場^{しょくば}での人間関係^{にんげんかんけい}」の割合^{わりあい}が最も^{もっと}高い^{たか}

今後、会社等で働きたい（パート、アルバイト等を含む）と答えた114人に、会社等で働くにあたって、心配なこと（課題）を聞いたところ、「職場での人間関係」の割合が最も高く33.3%、次いで「自分の健康・体力（病気等を含む）」が22.8%であった。（図Ⅲ-5-8）

問 会社等^{かいしゃとう}で働く^{はたら}にあたって、心配^{しんぱい}なこと（課題）は何^{かだい}ですか。^{なん}

図Ⅲ-5-8 会社等で働くにあたって、心配なこと（課題）



6 経済基盤

(1) 収入の種類〔3 つ以内の複数回答〕－愛の手帳の程度別

収入の種類は「年金・恩給」の割合が最も高く65.7%

平成24年中の収入の種類を聞いたところ、「年金・恩給」の割合が最も高く65.7%、次いで「手当」37.7%、「賃金・給料」28.9%、「作業所等の工賃」27.9%となっている。

愛の手帳の程度別にみると、3度では「作業所等の工賃」(47.5%)が、4度では「賃金・給料」(50.1%)がそれぞれ総数を大きく上回っている。(表Ⅲ-6-1)

問 平成24年中のあなたご自身の収入の種類についてお聞きします。

表Ⅲ-6-1 収入の種類〔3 つ以内の複数回答〕－愛の手帳の程度別

	総数	賃金・給料	事業所得	内職収入	家賃・地代	利子・配当	仕送り・小遣い※	養育費・慰謝料	年金・恩給	生活保護費	手当	雇用保険	保険金・補償金	作業所等の工賃	その他の収入	収入はなかった	無回答
総数	100.0 (810)	28.9	-	0.2	0.5	0.1	3.7	-	65.7	4.2	37.7	0.2	0.2	27.9	0.9	5.3	2.2
1度	100.0 (31)	3.2	-	-	-	-	6.5	-	96.8	-	71.0	-	-	9.7	-	3.2	-
2度	100.0 (225)	2.7	-	0.4	-	0.4	1.8	-	81.8	1.8	50.7	-	0.4	31.1	0.4	4.9	1.8
3度	100.0 (183)	22.4	-	-	-	-	4.4	-	77.6	1.6	34.4	0.5	-	47.5	0.5	3.8	2.2
4度	100.0 (371)	50.1	-	0.3	1.1	-	4.3	-	47.4	7.3	28.6	0.3	0.3	17.8	1.3	6.5	2.7
20年度	100.0 (805)	29.6	0.1	-	1.0	0.1	2.0	0.1	69.1	2.7	38.3	0.2	0.4	29.9	2.0	4.3	0.6

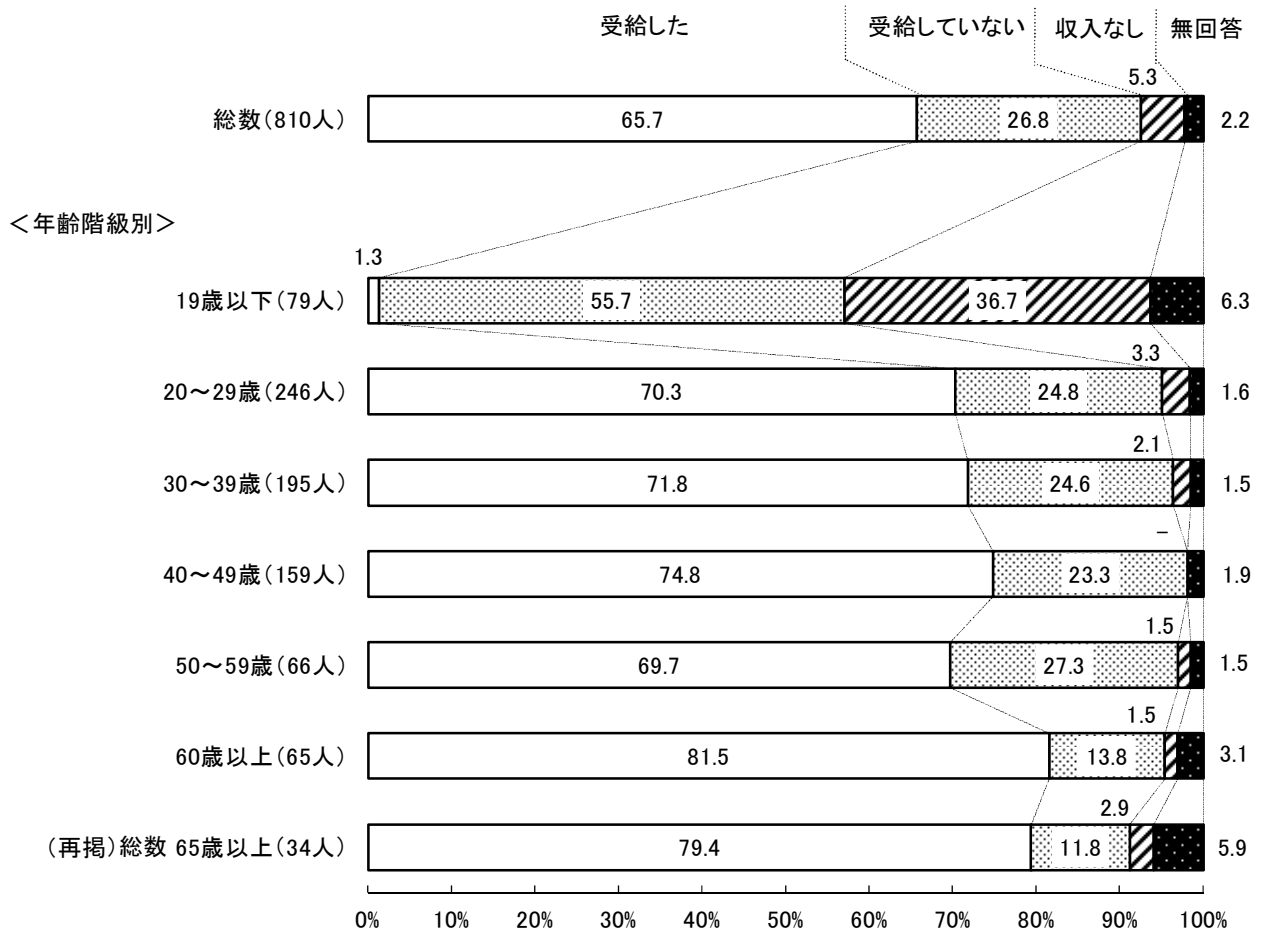
(注)※は20年度調査では「仕送り」としていた。

(2) 年金・恩給の受給の有無一年齢階級別

平成 24 年中の年金・恩給の受給の有無を聞いたところ、「受給した」は 65.7%、「受給していない」が 26.8%となっている。

年齢階級別にみると、20 代～40 代でも「受給した」の割合は、7 割を超えている。(図Ⅲ-6-1)

図Ⅲ-6-1 年金・恩給の受給の有無一年齢階級別



(3) 年金・恩給の収入額一年齢階級、愛の手帳の程度別

※年金・恩給を受給している 532 人が対象

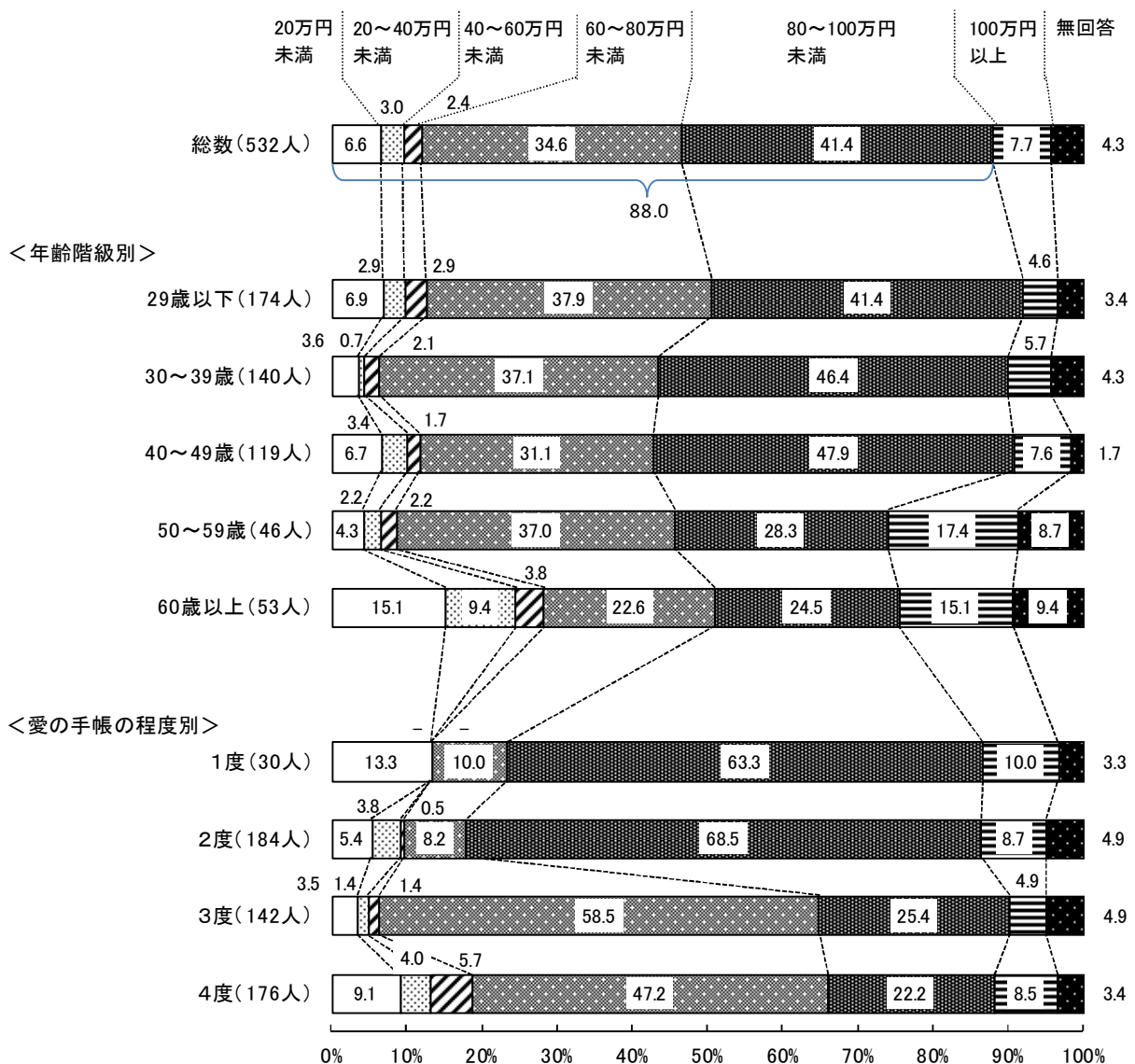
ねんきん おんきゅう しゅうにゆうがく まんえんみ まん わりあい やく わり
年金・恩給の収入額は「100万円未満」の割合が約9割

平成 24 年中における年金・恩給の収入額は「80～100 万円未満」の割合が最も高く 41.4%、次いで「60～80 万円未満」が 34.6%となっており、100 万円未満の割合でみると 88.0%となっている。

愛の手帳の程度別にみると 1 度及び 2 度では、「80 万～100 万円未満」の割合が高く(1 度 63.3%、2 度 68.5%)、3 度及び 4 度では、「60 万～80 万円未満」の割合が高くなっている(3 度 58.5%、4 度 47.2%)。(図Ⅲ-6-2)

と い へ い ねん ねん おん しゅう
問 平成24年中における年金・恩給の収入額はいくらですか。

図Ⅲ-6-2 年金・恩給の収入額一年齢階級、愛の手帳の程度別



(4) 平成24年中の収入額（生活保護費を除く）一年齢階級、愛の手帳の程度別

ねんしゅう はんえんみまん わりあい もっと たか
年 収 は「50～100万円未満」の割合が最も高い

平成24年中の収入額は「50～100万円未満」の割合が最も高く30.2%、次いで「100～150万円未満」が23.1%である。（表Ⅲ-6-2）

問 あなたの平成24年中の収入額はいくらですか。収入には、ご自身で働いて得た収入や就労継続支援事業所などからの収入のほか、あなたの年金・手当による収入や仕送りや小遣いを含みますが、生活保護費は除きます。

表Ⅲ-6-2 平成24年中の収入額（生活保護費を除く）一年齢階級、愛の手帳の程度別

	総数	収入なし	50万円未満	50万円未満	10万円未満	10万円未満	20万円未満	20万円未満	30万円未満	40万円未満	50万円未満	無回答
総数	100.0 (810)	6.9	11.7	30.2	23.1	13.5	6.5	1.7	0.5	0.2	0.1	5.4
年齢階級別	19歳以下	100.0 (79)	41.8	27.8	11.4	13.9	-	-	-	-	-	5.1
	20～29歳	100.0 (246)	4.1	11.0	28.9	24.8	14.6	8.1	3.3	0.4	0.4	4.5
	30～39歳	100.0 (195)	2.6	7.7	32.8	21.5	20.0	8.7	1.0	0.5	-	5.1
	40～49歳	100.0 (159)	0.6	12.6	36.5	25.8	14.5	5.0	0.6	0.6	0.6	3.1
	50～59歳	100.0 (66)	3.0	6.1	31.8	25.8	12.1	7.6	1.5	-	-	12.1
	60歳以上	100.0 (65)	7.7	10.8	33.8	23.1	4.6	4.6	3.1	1.5	-	9.2
愛の手帳の程度別	1度	100.0 (31)	3.2	9.7	16.1	22.6	22.6	16.1	3.2	-	-	6.5
	2度	100.0 (225)	4.9	11.1	32.9	22.2	16.4	5.8	0.4	-	-	6.2
	3度	100.0 (183)	4.4	10.4	43.2	24.0	7.1	4.4	0.5	0.5	-	5.5
	4度	100.0 (371)	9.7	12.9	23.5	23.2	14.0	7.3	3.0	0.8	0.5	4.9
20年度	100.0 (805)	4.5	11.1	32.8	26.0	12.0	5.2	2.2	1.6	0.1	-	4.5

7 社会参加等

(1) 平日の日中主に過ごしたところ一年齢階級、愛の手帳の程度別

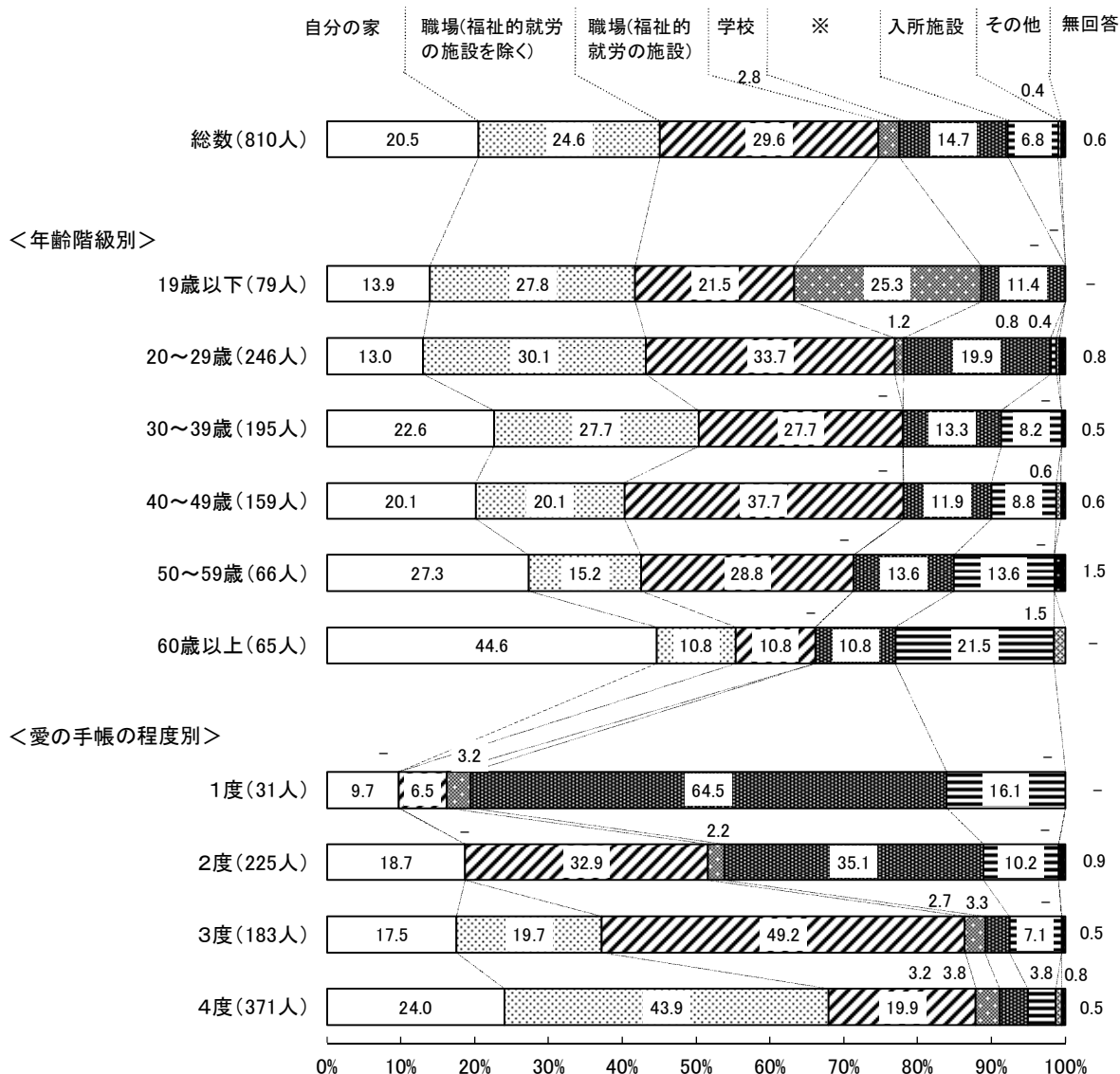
平日の日中主に過ごしたところは「職場（福祉的就労の施設）」が最も高く 29.6%

平日の日中に過ごしたところについて聞いたところ、「職場（福祉的就労の施設）」の割合が 29.6%と最も高く、次いで「職場（福祉的就労の施設を除く）」24.6%、「自分の家」20.5%となっている。

愛の手帳の程度別にみると、「通所施設（デイケア、地域活動支援センター等を含む・福祉的就労の施設は除く）」の割合が1度で64.5%、2度で35.1%と最も高く、3度では「職場（福祉的就労の施設）」の割合が49.2%、4度では「職場（福祉的就労の施設を除く）」の割合が43.9%と最も高くなっている。（図Ⅲ-7-1）

問 この1年間にあなたは、平日の日中主にどこで過ごしましたか。

図Ⅲ-7-1 平日の日中に過ごしたところ一年齢階級、愛の手帳の程度別



(注1) ※は、通所施設（デイケア、地域活動支援センター等を含む・福祉的就労の施設は除く）

(注2) 選択肢が異なるため、20年度調査との比較は行わない。

(2) 現在利用している施設に満足しているか一年齢階級、愛の手帳の程度、回答者別

※平日の日中主に職場（福祉的就労の施設）または通所施設（デイケア、地域活動支援センター等を含む・福祉的就労の施設は除く）で過ごしている 359 人が対象

げんざいりよう 現在利用している施設に満足している（「とても満足している」＋「満足している」＋「だいたい満足している」）割合は 75.4%。そのうち、「とても満足している」割合は 22.8%

平日の日中主に職場（福祉的就労の施設）または通所施設（デイケア、地域活動支援センター等を含む・福祉的就労の施設は除く）で過ごしている人で、現在利用している施設に「とても満足している」と答えた割合は 22.8%、「満足している」(31.2%) 及び「だいたい満足している」(21.4%) と合わせると、75.4%の人が満足していると回答している。一方で、不満である（「やや不満である」(4.7%)、「不満である」(2.2%)、「とても不満である」(0.6%)）と答えた割合は 7.5%であった。

回答者別にみると、不満である（「やや不満である」「不満である」「とても不満である」の合計）と答えた割合は、「本人が回答」した場合（16.9%）の方が、「本人以外が回答」した場合（3.6%）よりも 10 ポイント以上高くなっている。（表Ⅲ-7-1）

と問 あなたは、現在通っている施設に満足していますか。

表Ⅲ-7-1 現在利用している施設に満足しているか一年齢階級、愛の手帳の程度、回答者別

		総 数	と て も 満 足 し て い る	満 足 し て い る	だ い たい 満 足 し て い る	ふ つ う	やや 不 満 で ある	不 満 で ある	と て も 不 満 で ある	無 回 答
総数		100.0 (359)	22.8	31.2 75.4	21.4	13.9	4.7	2.2 7.5	0.6	3.1
年 齢 階 級 別	19歳以下	100.0 (26)	26.9	38.5	15.4	7.7	—	3.8	3.8	3.8
	20～29歳	100.0 (132)	19.7	29.5	24.2	15.2	4.5	3.0	—	3.8
	30～39歳	100.0 (80)	21.3	28.8	22.5	17.5	5.0	—	—	5.0
	40～49歳	100.0 (79)	22.8	32.9	21.5	11.4	7.6	2.5	—	1.3
	50～59歳	100.0 (28)	28.6	32.1	17.9	14.3	3.6	3.6	—	—
	60歳以上	100.0 (14)	42.9	35.7	7.1	7.1	—	—	7.1	—
愛 の 手 帳 の 程 度 別	1度	100.0 (22)	18.2	45.5	22.7	4.5	—	4.5	—	4.5
	2度	100.0 (153)	22.9	32.7	22.9	16.3	2.0	0.7	—	2.6
	3度	100.0 (96)	27.1	30.2	25.0	10.4	3.1	—	1.0	3.1
	4度	100.0 (88)	19.3	26.1	14.8	15.9	12.5	6.8	1.1	3.4
回 答 者 別	本人が回答	100.0 (107)	24.3	26.2	16.8	12.1	10.3	4.7 16.9	1.9	3.7
	本人以外が回答	100.0 (251)	21.9	33.5	23.5	14.7	2.4	1.2 3.6	—	2.8

(注)回答者別については、回答者が不明のものは省略した。

(3) 趣味や社会活動への参加〔複数回答〕－愛の手帳の程度、年齢階級別

ねんどちょうさ 20年度調査よりも「^{がくしゅうかつどう}学習活動」の割合が3.7ポイント上^{じょうしょう}昇

この1年間に行った趣味、学習、スポーツ、社会活動について聞いたところ、「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞、見物」の割合が最も高く36.9%であった。

20年度調査と比較すると、「学習活動」の割合が6.7%から10.4%になり、3.7ポイント上昇した。(表Ⅲ-7-2)

とい 問 この1年間にあなたは、^{ねんかん}趣味や^{がくしゅう}学習、^{しゃいかいかつどう}スポーツ、^{かつどう}社会活動などの活動をしましたか。

表Ⅲ-7-2 趣味や社会活動への参加〔複数回答〕－愛の手帳の程度、年齢階級別

		総 数	見 物 コ ン サ ー ツ な ど の 鑑 賞 、	ス ポ ー ツ や レ ジャ ー な ど の 活 動	学 習 活 動	趣 味 の サー クル 活 動	N P O 活 動 ボ ラン ティア 活 動 や	障 害 者 団 体 な ど の 活 動	参 加 で き る 活 動 場 所 が な い	活 動 を し た い と 思 う が で き な い	活 動 し た い と 思 わ な い	そ の 他	無 回 答
総 数		100.0 (810)	36.9	33.1	10.4	14.7	5.1	20.2	4.1	13.8	13.0	8.8	4.0
年 齢 階 級 別	19歳以下	100.0 (79)	50.6	43.0	29.1	11.4	5.1	16.5	1.3	3.8	11.4	5.1	3.8
	20～29歳	100.0 (246)	43.5	41.1	11.8	19.9	5.7	29.7	2.8	13.8	8.5	4.1	4.5
	30～39歳	100.0 (195)	39.0	32.3	9.7	12.3	6.2	22.1	4.1	13.3	11.8	13.3	3.6
	40～49歳	100.0 (159)	23.3	26.4	3.1	8.8	3.1	13.8	4.4	16.4	18.2	11.9	3.8
	50～59歳	100.0 (66)	33.3	28.8	9.1	19.7	6.1	13.6	9.1	19.7	12.1	9.1	1.5
	60歳以上	100.0 (65)	26.2	13.8	3.1	15.4	3.1	6.2	6.2	15.4	23.1	9.2	6.2
愛 の 手 帳 の 程 度 別	1度	100.0 (31)	29.0	29.0	9.7	9.7	－	32.3	3.2	45.2	－	3.2	3.2
	2度	100.0 (225)	36.0	36.9	11.1	10.7	5.3	29.8	4.4	15.1	8.9	10.2	5.3
	3度	100.0 (183)	36.1	34.4	10.9	20.2	5.5	21.9	3.8	10.4	10.9	8.7	4.9
	4度	100.0 (371)	38.5	30.5	9.7	14.8	5.1	12.7	4.0	12.1	17.5	8.4	2.7
20年度		100.0 (805)	40.0	31.2	6.7	15.9	4.2	17.6	4.0	13.0	12.0	10.3	5.7

(4) 社会参加をする上で妨げになっていること〔3つまでの複数回答〕

－愛の手帳の程度、平日の日中主に過ごしたところ別

社会参加をする上で妨げになっていることは「まわりの人の障害者に対する理解不足」、「一緒に行く仲間がいない」、及び「介助者がいない」の割合が高い。

社会参加をする上で妨げになっていることを聞いたところ、「まわりの人の障害者に対する理解不足」(17.2%)、「一緒に行く仲間がいない」(16.9%)、及び「介助者がいない」(16.5%)の割合が高くなっている。

愛の手帳の程度別にみると、1度では「介助者がいない」(48.4%)、「電車やバスなどを使つての移動が不便」(45.2%)の割合が高いのが目立つ。また、平日の日中主に過ごしたところ別にみると「職場(福祉的就労の施設を除く)」の人では「特にない」の割合が59.3%と総数(38.5%)に比べ高くなっている。(表Ⅲ-7-3)

問 あなたが社会参加をする上で、妨げになっていることはありますか。

表Ⅲ-7-3 社会参加する上で妨げになっていること〔3つまでの複数回答〕

－愛の手帳の程度、平日の日中主に過ごしたところ別

		総数	分道 から 路や 駅な どの 表示 が	の電 移車 動や バ スな どを 使っ て	介 助 者 が い な い	情 報 が な い	ま わ り の 理 解 不 足 の 障 害 者 に	利 用 を 拒 否 さ れ 施 設 等 の	適 切 な 指 導 者 が い な い	一 緒 に 行 く 仲 間 が い な い	そ の 他	特 に な い	無 回 答
総数		100.0 (810)	11.9	14.1	16.5	8.9	17.2	1.1	8.3	16.9	9.3	38.5	4.6
愛の手帳の程度別	1度	100.0 (31)	-	45.2	48.4	9.7	16.1	12.9	3.2	-	12.9	19.4	6.5
	2度	100.0 (225)	19.1	17.3	31.6	5.8	20.0	0.9	10.7	8.9	15.6	23.1	6.7
	3度	100.0 (183)	15.8	15.8	16.9	11.5	20.2	1.1	9.8	21.3	9.3	31.7	5.5
	4度	100.0 (371)	6.5	8.6	4.6	9.4	14.0	0.3	6.5	21.0	5.1	52.8	2.7
主に過ごしたところ別 平日の日中	自分の家	100.0 (166)	9.0	10.8	15.1	9.6	15.1	-	4.8	19.9	14.5	38.6	3.6
	職場(福祉的就労の施設を除く)	100.0 (199)	7.5	4.0	2.0	10.6	15.1	1.0	3.5	17.6	3.0	59.3	3.0
	職場(福祉的就労の施設)	100.0 (240)	15.4	17.1	21.7	8.3	23.3	0.4	13.3	19.6	7.1	33.8	2.5
	学校	100.0 (23)	21.7	21.7	13.0	17.4	21.7	8.7	13.0	21.7	8.7	26.1	-
	通所施設(デイケア、地域活動支援センター等を含む・福祉的就労の施設は除く)	100.0 (119)	12.6	26.9	30.3	6.7	15.1	3.4	10.9	9.2	12.6	26.1	5.0
	入所施設	100.0 (55)	16.4	18.2	25.5	5.5	9.1	-	5.5	5.5	20.0	20.0	16.4
20年度		100.0 (805)	10.7	14.2	13.9	5.1	18.5	1.4	6.8	18.3	12.5	38.9	3.6

(注) 平日の日中主に過ごしたところの「その他」については、母集団が少数のため省略した。

(5) 障害のためにあきらめたり妥協したこと〔複数回答〕

一年齢階級、愛の手帳の程度、回答者別

しょうがい 障害のためにあきらめたり だきよう 妥協したことは、「就 職」「旅行や遠くへの外出」「結婚」の 割合が高い

障害のためにあきらめたり、妥協せざるを得なかったことを聞いたところ、「就職」(28.9%)「旅行や遠くへの外出」(28.1%)、「結婚」(27.4%)の割合が高くなっている。

回答者別にみると、本人が回答では「人付き合い」(22.0%)や「旅行や遠くへの外出」(21.5%)の割合が高くなっているが、本人以外が回答では「就職(35.5%)」や「結婚(34.8%)」の割合が高くなっている。

20年度調査と比べると「結婚」の割合が5.4ポイント減少した。(表Ⅲ-7-4)

問 あなたはしょうがい障害があるためにあきらめたり、だきよう妥協せざるを得なかったことがありますか。

表Ⅲ-7-4 障害のためにあきらめたり妥協したこと〔複数回答〕

一年齢階級、愛の手帳の程度、回答者別

		総 数	進 学	就 職	異 性 と の 付 き 合 い	結 婚	出 産 ・ 育 児	人 付 き 合 い	近 く へ の 外 出	旅 行 や 遠 く へ の 外 出	お フ ァ ッ シ ョ ン な ど の	ス ポ ー ツ ・ 文 化 活 動	そ の 他	特 に な い	無 回 答
総数		100.0 (810)	21.6	<u>28.9</u>	24.8	<u>27.4</u>	15.1	24.7	13.1	<u>28.1</u>	12.7	20.4	3.0	32.6	7.2
年 齢 階 級 別	19歳以下	100.0 (79)	29.1	24.1	13.9	15.2	6.3	19.0	15.2	27.8	11.4	21.5	1.3	26.6	5.1
	20～29歳	100.0 (246)	24.0	29.7	26.8	28.5	16.7	28.0	15.0	31.7	12.6	25.6	3.7	27.2	7.7
	30～39歳	100.0 (195)	19.5	29.7	27.7	31.3	17.4	25.6	10.8	24.1	11.8	19.5	4.1	36.4	4.1
	40～49歳	100.0 (159)	17.6	30.8	22.0	25.8	13.2	22.6	13.2	25.2	12.6	13.2	1.9	37.1	8.8
	50～59歳	100.0 (66)	12.1	24.2	21.2	22.7	13.6	21.2	9.1	31.8	19.7	15.2	-	36.4	13.6
	60歳以上	100.0 (65)	29.2	29.2	32.3	35.4	18.5	24.6	13.8	30.8	10.8	24.6	4.6	33.8	6.2
愛 の 手 帳 の 程 度 別	1度	100.0 (31)	35.5	35.5	38.7	35.5	29.0	32.3	29.0	45.2	35.5	38.7	3.2	12.9	29.0
	2度	100.0 (225)	28.9	35.6	32.9	32.9	24.9	29.3	25.8	38.7	22.7	36.4	4.4	24.9	12.9
	3度	100.0 (183)	19.7	34.4	25.7	30.1	13.7	24.6	11.5	29.0	8.7	16.9	4.4	24.0	6.0
	4度	100.0 (371)	17.0	21.6	18.3	22.1	8.6	21.3	4.9	19.9	6.7	10.8	1.3	43.1	2.4
回 答 者 別	本人が回答	100.0 (372)	15.3	21.2	16.1	18.8	7.8	<u>22.0</u>	4.3	<u>21.5</u>	7.8	10.2	1.3	42.7	3.0
	本人以外が回答	100.0 (437)	27.0	<u>35.5</u>	32.3	<u>34.8</u>	21.3	27.0	20.6	33.9	16.9	29.1	4.3	23.8	10.8
20年度		100.0 (805)	24.5	30.7	29.1	<u>32.8</u>	16.9	25.1	14.9	29.6	14.7	21.9	5.8	28.4	4.8

(注) 回答者別については、回答者が不明のものは省略した。

8 情報の入手やコミュニケーションの手段

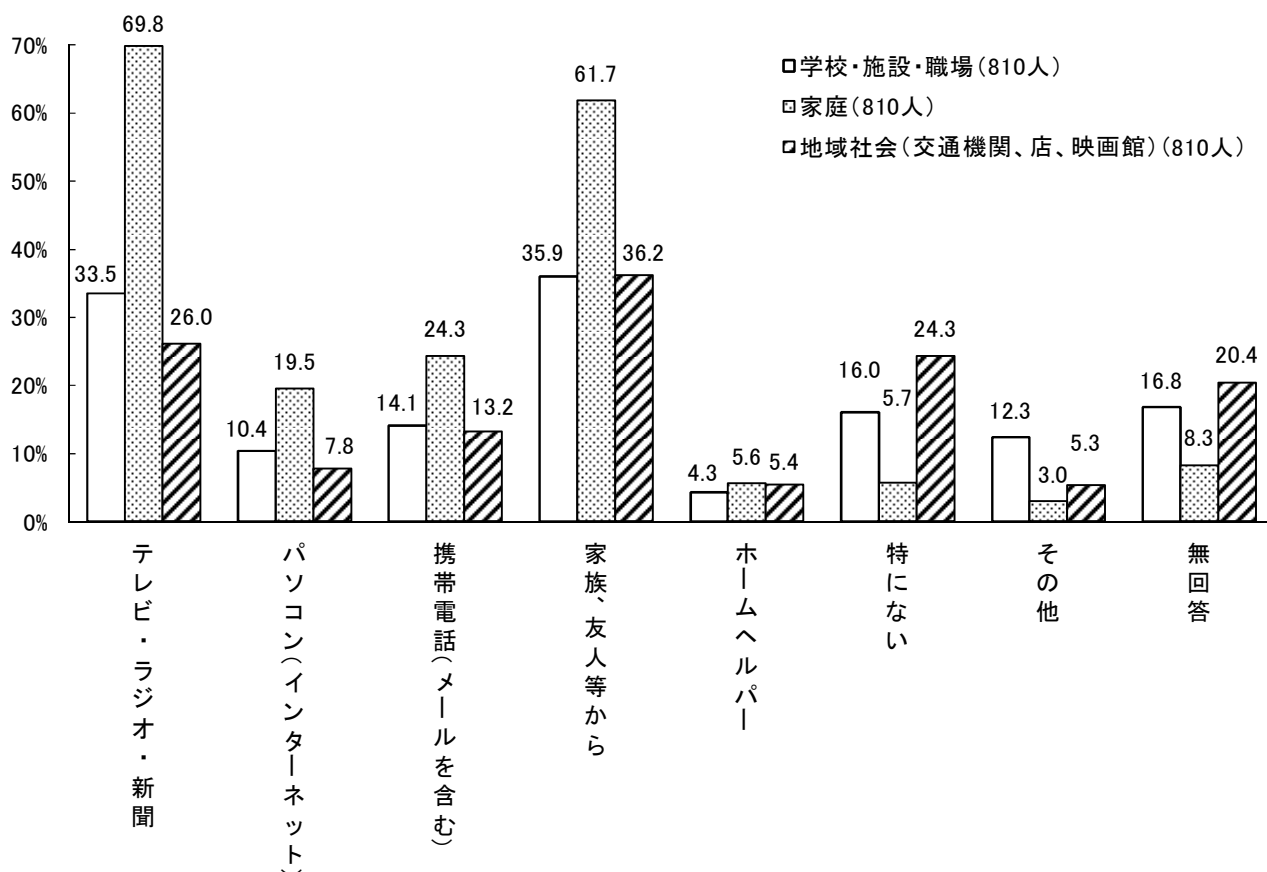
(1) 情報の入手やコミュニケーションの手段〔複数回答〕

「^{がっこう}学校・^{しせつ}施設・^{しょくば}職場」「^{ちいきしゃかい}地域社会（^{こうつうきかん}交通機関、^{みせ}店、^{えいがかん}映画館）」におけるコミュニケーションの手段は「^{かぞく}家族、^{ゆうじんとう}友人等から」の割合が最も高い

「学校・施設・職場」「家庭」「地域社会」のそれぞれの場所において、どのようにして情報を得たり、コミュニケーションをとったりしているか聞いたところ、それぞれ、最も高い割合は「学校・施設・職場」では、「家族、友人等から」の35.9%、「家庭」では、「テレビ・ラジオ・新聞」の69.8%、「地域社会（交通機関、店、映画館）」では「家族、友人等から」の36.2%であった。（図Ⅲ-8-1）

問 あなたは、「^{がっこう}学校・^{しせつ}施設・^{しょくば}職場」「^{かてい}家庭」「^{ちいきしゃかい}地域社会」のそれぞれの場所において、どのようにして^{じょうほう}情報を得たり、コミュニケーションをとったりしていますか。

図Ⅲ-8-1 情報の入手やコミュニケーションの手段〔複数回答〕



(2) 情報の入手やコミュニケーションの手段〔複数回答〕－回答者別

「学校・施設・職場」「家庭」「地域社会（交通機関、店、映画館）」のそれぞれの場所における情報の入手やコミュニケーションの手段を回答者別にみると、「学校・施設・職場」「家庭」「地域社会（交通機関、店、映画館）」のすべての場所において、本人が回答したほうが、本人以外が回答した場合に比べて、「携帯電話（メールを含む）」の割合が高くなっている。（表Ⅲ-8-1）

表Ⅲ-8-1 情報の入手やコミュニケーションの手段〔複数回答〕－回答者別

		総 数	新 聞 テ レ ビ ・ ラ ジ オ ・	パ ソ コ ン （ イ ン タ ー ネ ッ ト ）	携 帯 電 話 （ メ ー ル を 含 む ）	家 族 、 友 人 等 か ら	ホ ー ム ヘル パー	特 に な い	そ の 他	無 回 答
学 校 ・ 施 設 ・ 職 場	総数	100.0 (810)	33.5	10.4	14.1	35.9	4.3	16.0	12.3	16.8
	本人が回答	100.0 (372)	39.2	14.0	<u>22.6</u>	33.9	3.0	13.7	11.0	13.7
	本人以外が回答	100.0 (437)	28.4	7.3	<u>6.9</u>	37.8	5.5	18.1	13.5	19.5
家 庭	総数	100.0 (810)	69.8	19.5	24.3	61.7	5.6	5.7	3.0	8.3
	本人が回答	100.0 (372)	80.4	27.7	<u>39.2</u>	60.5	3.0	3.0	2.4	5.4
	本人以外が回答	100.0 (437)	60.6	12.6	<u>11.7</u>	62.9	7.8	8.0	3.4	10.8
店（ 交 通 機 関 、 地 域 社 会 、 映 画 館 、 映 画 館 開 会 ）	総数	100.0 (810)	26.0	7.8	13.2	36.2	5.4	24.3	5.3	20.4
	本人が回答	100.0 (372)	34.9	12.1	<u>23.4</u>	37.9	3.8	22.8	3.8	15.1
	本人以外が回答	100.0 (437)	18.3	4.1	<u>4.6</u>	34.8	6.9	25.6	6.6	24.9

（注）回答者別については、回答者が不明のものは省略した。

(3) 情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ること〔2つまでの複数回答〕

一年齢階級、愛の手帳の程度、回答者別

じょうほうにゆうしゅ
情報入手やコミュニケーションをとる上で困ることは「まわりの人と意思疎通が不十分なため人間関係がうまくいかない」の割合が最も高い

情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ることがあるか聞いたところ「困ることがある」と答えた割合は63.1%と6割以上の人が困ることがあると回答した。

「困ることがある」理由では、「まわりの人と意思疎通が不十分なため人間関係がうまくいかない」(32.7%)、「初めて行くところでは、どのように行けばよいか迷う」(30.4%)の割合が高い。

回答者別にみると「困ることがある」の割合は、本人が回答(58.3%)よりも本人以外が回答(67.0%)の割合の方が8.7ポイント高くなっている。(表Ⅲ-8-2)

と
問 あなたは、じょうほうにゆうしゅ
情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ることがありますか。

表Ⅲ-8-2 情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ること〔2つまでの複数回答〕

一年齢階級、愛の手帳の程度、回答者別

		総 数	困 る こ と が あ る	理由						特 に 困 ら な い	無 回 答
				わが公共施設の案内等がわかりにくい	迷うのとよく分らない	初めての行先に行きにくい	うまく分らない人との意思疎通が	インターネットの使い方が	メールの使い方が		
総数		100.0 (810)	<u>63.1</u>	8.0	<u>30.4</u>	<u>32.7</u>	5.9	3.3	12.7	30.6	6.3
年齢階級別	19歳以下	100.0 (79)	64.6	11.4	39.2	36.7	5.1	2.5	6.3	32.9	2.5
	20～29歳	100.0 (246)	69.9	9.3	34.6	43.1	4.5	3.7	10.6	24.4	5.7
	30～39歳	100.0 (195)	59.0	6.7	27.2	27.2	7.2	3.1	12.8	33.3	7.7
	40～49歳	100.0 (159)	60.4	4.4	23.9	28.3	6.9	3.8	18.9	34.6	5.0
	50～59歳	100.0 (66)	60.6	12.1	39.4	25.8	4.5	－	12.1	31.8	7.6
	60歳以上	100.0 (65)	56.9	7.7	20.0	23.1	7.7	6.2	13.8	32.3	10.8
愛の手帳の程度別	1度	100.0 (31)	64.5	12.9	9.7	22.6	－	－	35.5	22.6	12.9
	2度	100.0 (225)	69.8	9.3	18.2	36.9	1.3	1.3	28.0	20.4	9.8
	3度	100.0 (183)	70.5	9.8	37.2	43.7	9.3	2.7	8.7	25.1	4.4
	4度	100.0 (371)	55.3	5.9	36.1	25.6	7.5	5.1	3.5	40.2	4.6
回答者別	本人が回答	100.0 (372)	<u>58.3</u>	8.1	37.4	29.0	8.1	4.3	3.8	37.6	4.0
	本人以外が回答	100.0 (437)	<u>67.0</u>	8.0	24.3	35.7	4.1	2.5	20.4	24.7	8.2

(注) 回答者別については、回答者が不明のものは省略した。

9 障害者総合支援法※による障害福祉サービス等

※（平成25年3月までは障害者自立支援法。以下同じ。）

（1）障害者総合支援法で利用したサービス（過去1年間）〔複数回答〕

※在宅で生活している743人が対象

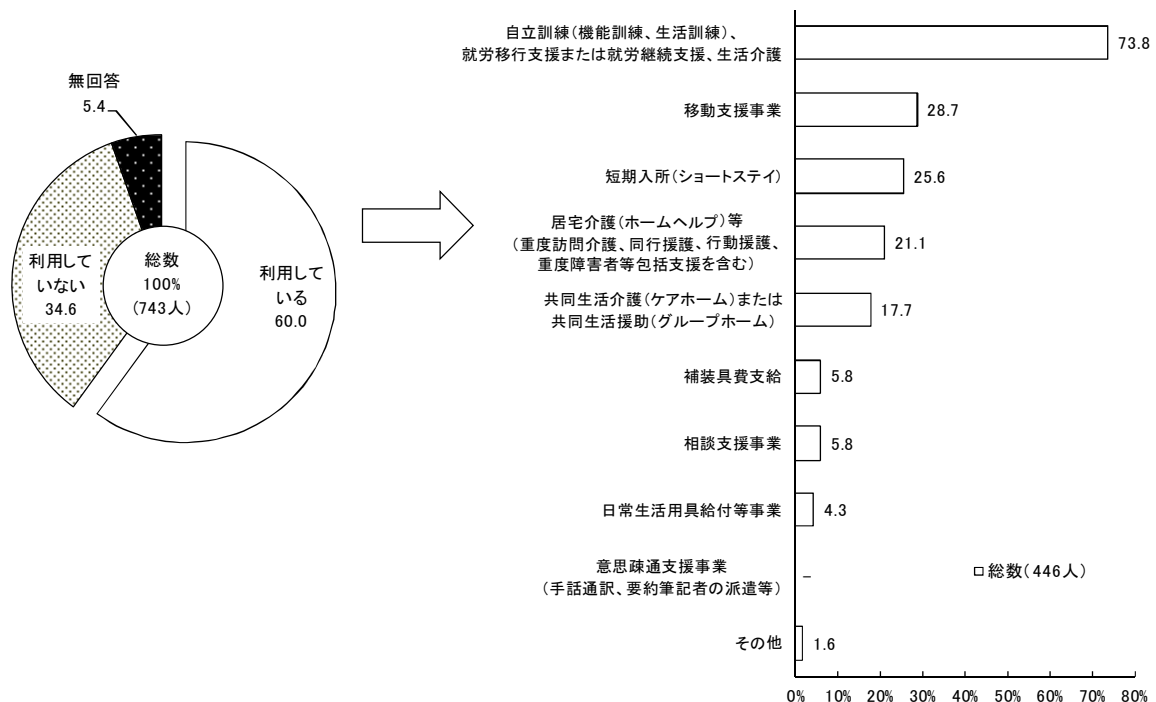
障害者総合支援法によるサービスを「利用している」割合は60.0%で、「自立訓練（機能訓練、生活訓練）、就労移行支援または就労継続支援、生活介護」の割合が最も高い

過去1年間に障害者総合支援法によるサービスを「利用している」割合は、60.0%、「利用していない」が34.6%であった。

利用した内容で最も割合が高かったのは、「自立訓練（機能訓練、生活訓練）、就労移行支援または就労継続支援、生活介護」が73.8%と7割を超えており、次いで「移動支援事業」が28.7%であった。（図Ⅲ-9-1）

問 過去1年間に障害者総合支援法による障害福祉サービスについて、どのような内容のサービスを利用しましたか。

図Ⅲ-9-1 障害者総合支援法で利用したサービス（過去1年間）〔複数回答〕



(2) 障害者総合支援法で利用したサービス（過去1年間）〔複数回答〕

－愛の手帳の程度、愛の手帳以外の手帳所持の有無別

障害者総合支援法で利用したサービス（過去1年間）について愛の手帳の程度別にみると1度では「利用している」割合は100%となっている。

愛の手帳以外の手帳所持の有無別にみると、愛の手帳以外の手帳ありの人では、障害者総合支援法によるサービスを「利用している」人の割合が74.2%であった。一方、愛の手帳以外の手帳なしの人で、障害者総合支援法によるサービスを「利用している」人の割合は、54.9%となっている。（表Ⅲ-9-1）

表Ⅲ-9-1 障害者総合支援法で利用したサービス（過去1年間）〔複数回答〕

－愛の手帳の程度、愛の手帳以外の手帳所持の有無別

		総 数	利 用 し て い る	居 宅 介 護 （ ホ ー ム ヘ ル プ ） 等 （ 重 度 障 害 者 等 包 括 支 援 を 含 む ）	短 期 入 所 （ シ ョ ー ト ス テ イ ）	自 立 訓 練 （ 機 能 訓 練 、 生 活 訓 練 、 就 労 移 行 支 援 ま た は 就 労 継 続 支 援 ）	共 同 生 活 介 護 （ ケ ア ホ ー ム ） ま た は 共 同 生 活 援 助 （ グ ル ー プ ホ ー ム ）	補 装 具 費 支 給	相 談 支 援 事 業	意 思 疎 通 支 援 事 業 （ 手 話 通 訳 、 要 約 筆 記 者 の 派 遣 等 ）	日 常 生 活 用 具 給 付 等 事 業	移 動 支 援 事 業	そ の 他	利 用 し て い な い	無 回 答
総数		100.0 (743)	60.0	12.7	15.3	44.3	10.6	3.5	3.5	-	2.6	17.2	0.9	34.6	5.4
愛の手帳の程度別	1度	100.0 (24)	100.0	54.2	62.5	45.8	-	29.2	4.2	-	29.2	29.2	4.2	-	-
	2度	100.0 (202)	83.7	25.7	35.1	61.9	8.9	5.9	4.5	-	4.0	36.1	1.0	13.9	2.5
	3度	100.0 (169)	70.4	8.3	10.7	60.9	13.6	1.8	3.0	-	1.8	17.2	1.2	24.9	4.7
	4度	100.0 (348)	38.5	4.3	2.9	25.9	10.9	1.1	3.2	-	0.3	5.5	0.6	53.7	7.8
（愛の手帳の所持の有無別）	手帳あり	100.0 (182)	74.2	24.2	27.5	49.5	7.7	14.3	6.0	-	10.4	24.7	1.6	21.4	4.4
	身体障害者手帳	100.0 (141)	80.1	29.1	33.3	53.2	7.1	18.4	5.0	-	13.5	29.8	2.1	17.0	2.8
	精神障害者保健福祉手帳	100.0 (47)	55.3	8.5	6.4	38.3	8.5	2.1	8.5	-	-	8.5	-	36.2	8.5
	手帳なし	100.0 (528)	54.9	9.3	11.6	42.6	11.7	-	2.7	-	-	15.0	0.6	40.5	4.5

（注）愛の手帳以外の手帳所持の有無について、「戦傷病者手帳」「その他」については該当者がいないため省略した。

(3) 居宅介護等のサービスの種類〔複数回答〕

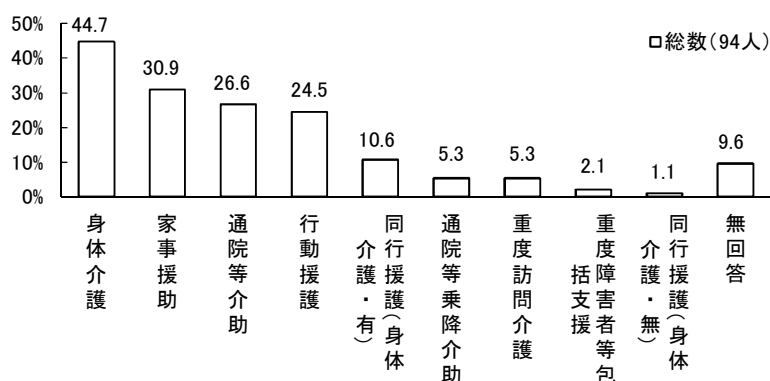
※居宅介護（ホームヘルプ）等（重度訪問介護、同行援護、行動援護、重度障害者等包括支援を含む）を利用している 94 人が対象

利用した居宅介護等のサービスの種類は「身体介護」が 44.7%

障害者総合支援法による障害福祉サービスで居宅介護（ホームヘルプ）等を利用した人のサービスの種類は「身体介護」（44.7%）と「家事援助」（30.9%）の割合が高くなっている。（図Ⅲ-9-2）

問 あなたが利用した居宅介護等のサービスの種類は何ですか。

図Ⅲ-9-2 居宅介護等のサービスの種類〔複数回答〕



(4) サービス支給量は十分か（居宅介護、短期入所）

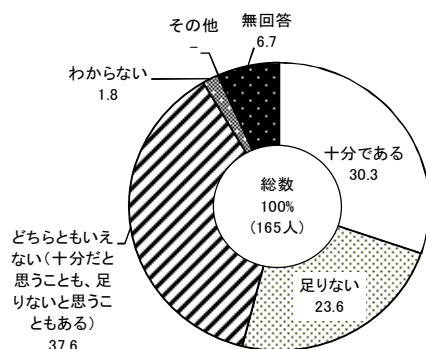
※居宅介護（ホームヘルプ）等（重度訪問介護、同行援護、行動援護、重度障害者等包括支援を含む）、短期入所（ショートステイ）を利用している 165 人が対象

サービス支給量が「十分である」と思っている人は 30.3%

障害者総合支援法による障害福祉サービスで居宅介護（ホームヘルプ）等及び短期入所（ショートステイ）を利用した人に支給量は十分か聞いたところ、最も高いのは「どちらともいえない（十分だと思うことも、足りないと思うこともある）」で 37.6%、次いで「十分である」は 30.3%であった。（図Ⅲ-9-3）

問 あなたが利用したサービスについて、支給量は十分だと思いますか。

図Ⅲ-9-3 サービス支給量は十分か（居宅介護、短期入所）



（５）障害者総合支援法における障害程度区分

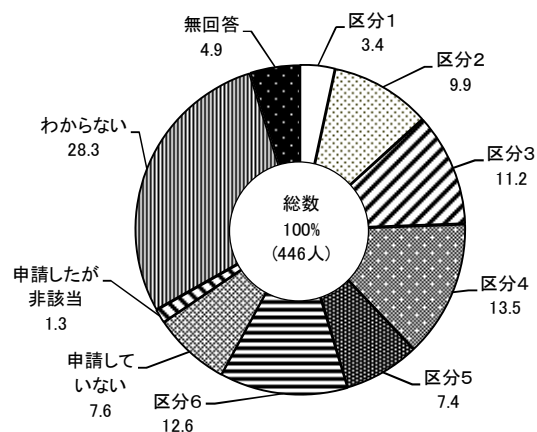
※過去１年間に障害者総合支援法のサービスを利用した 446 人が対象

障害程度区分は「区分4」が 13.5%

障害程度区分は「区分 4」の割合が 13.5%で最も高いが、「申請していない」が 7.6%、「わからない」も 28.3%となっている。（図Ⅲ-9-4）

問 あなたの障害程度区分はいくつですか。

図Ⅲ-9-4 障害者総合支援法における障害程度区分



（６）障害者総合支援法における障害福祉サービスの費用負担

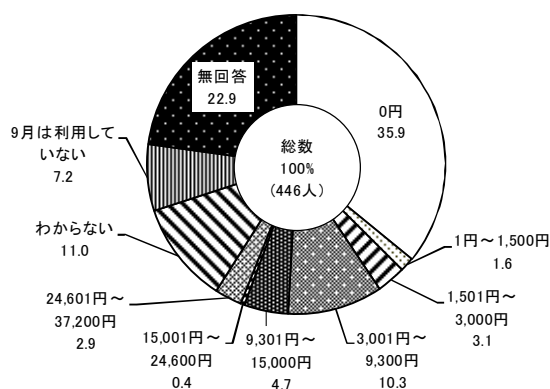
※過去１年間に障害者総合支援法のサービスを利用した 446 人が対象

障害者総合支援法における障害福祉サービスの費用は1か月あたり0円が 35.9%

平成 25 年 9 月の費用負担の費用負担額（食費等実費負担は除く）を聞いたところ、最も多いのが「0 円」で 35.9%、次いで「3,001 円～9,300 円」が 10.3%となっている。（図Ⅲ-9-5）

問 あなたの障害者総合支援法における障害福祉サービスの費用負担についてお聞きします。1か月にあなたが負担した額（食費等実費負担は除く）はいくらですか。

図Ⅲ-9-5 障害者総合支援法における障害福祉サービスの費用負担



(7) 日常生活自立支援事業の利用意向

—愛の手帳の程度、現在一緒に生活している人〔複数回答〕、回答者別

にちじょうせいかつじりつしえんじぎょう こんごりよう わりあい
日常生活自立支援事業を今後利用したい割合は 19.0%

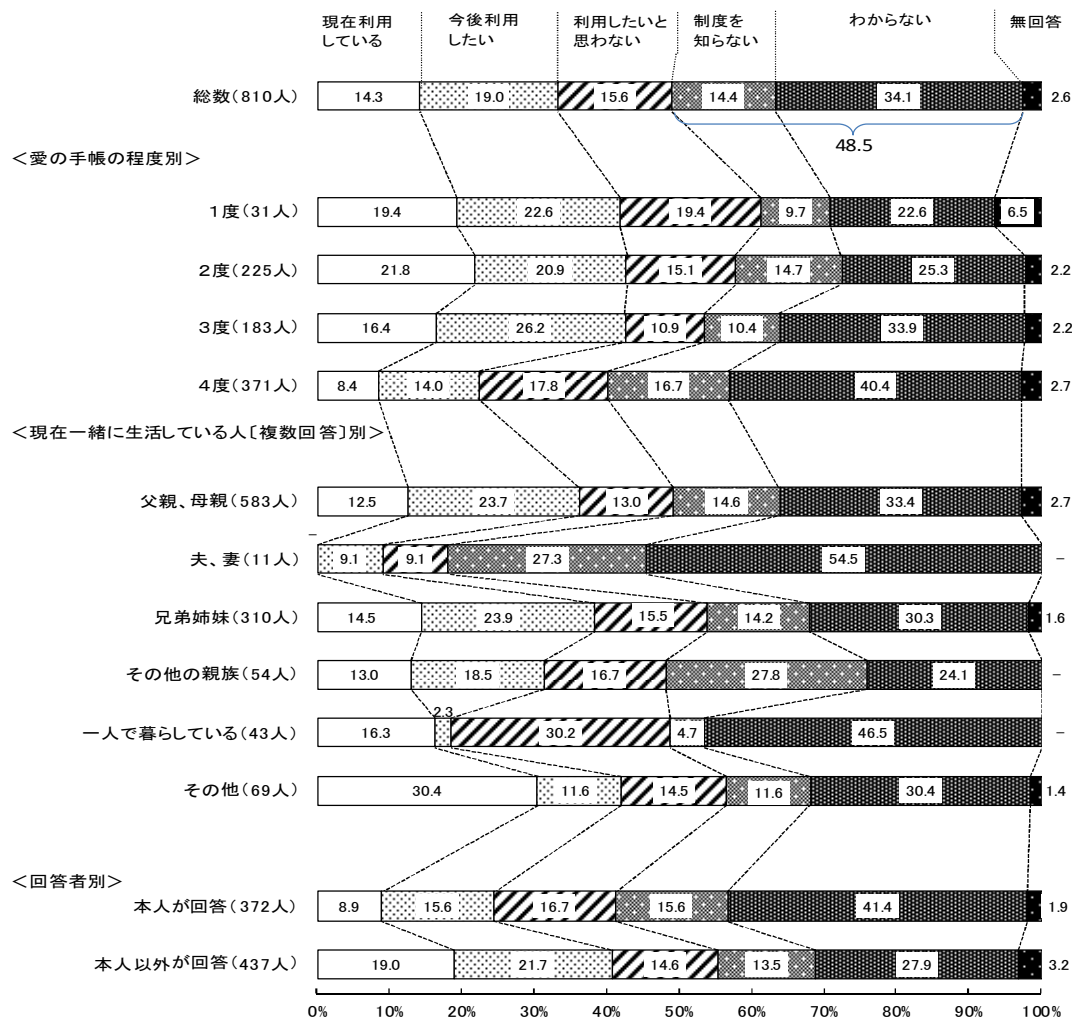
日常生活自立支援事業を利用するつもりがあるか聞いたところ「わからない」(34.1%)の割合が最も高く、「制度を知らない」(14.4%)とあわせて5割近く(48.5%)となっている。「今後利用したい」の割合は19.0%であった。

回答者別にみると本人以外が回答では「今後利用したい」の割合が21.7%で本人が回答(15.6%)よりも高くなっている。(図Ⅲ-9-6)

問 あなたは、日常生活自立支援事業を利用するつもり(予定)がありますか。

図Ⅲ-9-6 日常生活自立支援事業の利用意向

—愛の手帳の程度、現在一緒に生活している人〔複数回答〕、回答者別



(注1)回答者別については、回答者が不明のものは省略した。

(注2)「現在一緒に生活している人」は在宅者を対象とした設問のため、総数は743人である。

なお、「その他」は主にグループホーム、ケアホームの居住者である。

(注3)「現在一緒に生活している人」が「子供」については、母集団が少数のため省略した。

(8) 成年後見制度の利用意向

一愛の手帳の程度、現在一緒に生活している人〔複数回答〕、回答者別

成年後見制度を「今後利用したい」人の割合は、26.8%

成年後見制度を利用するつもりがあるか聞いたところ「わからない」の割合が42.6%、一方で「今後利用したい」の割合は26.8%であった。

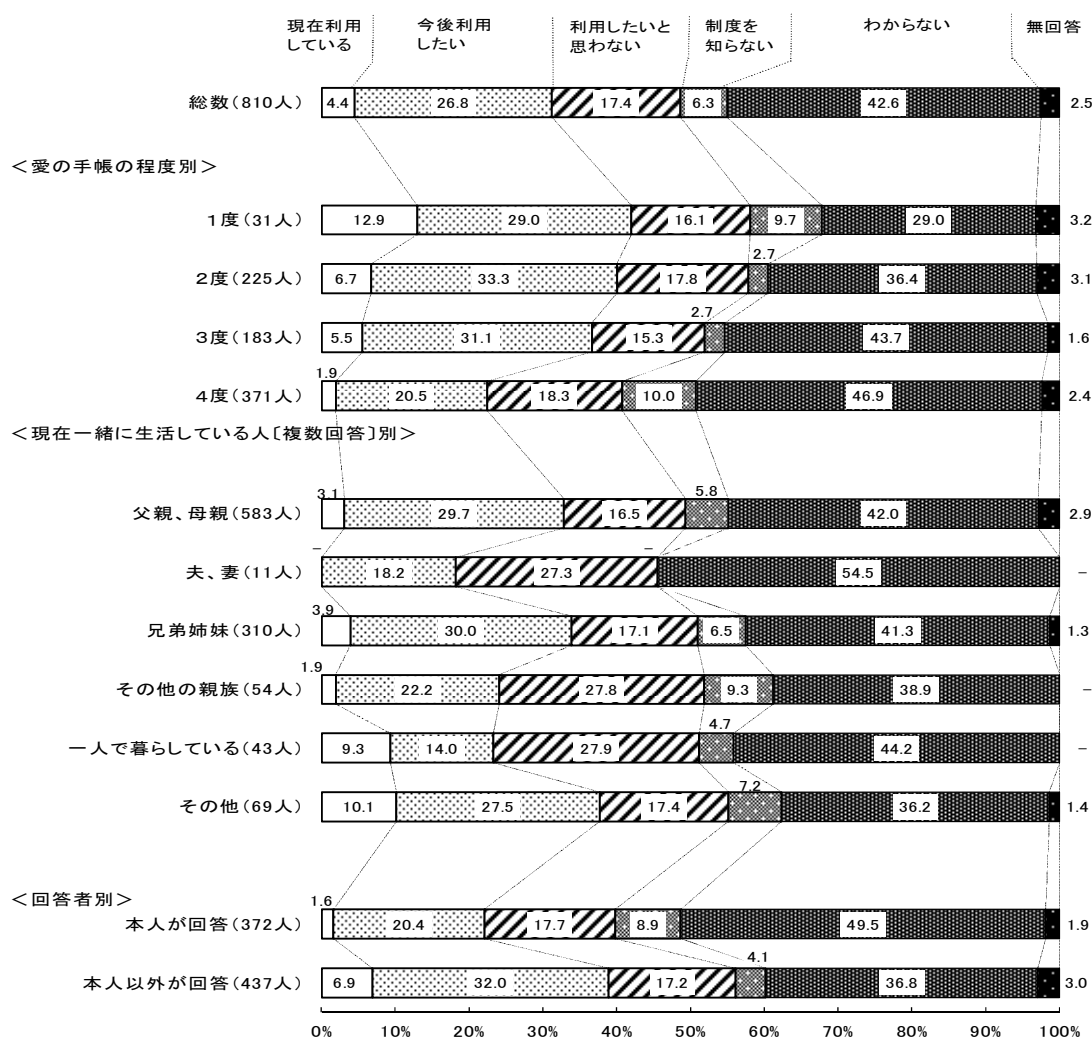
愛の手帳の程度別にみると「今後利用したい」の割合は、2度が33.3%と高い。

回答者別にみると本人以外が回答では「今後利用したい」の割合が32.0%で本人が回答(20.4%)よりも高くなっている。(図Ⅲ-9-7)

問 あなたは、成年後見制度を利用するつもり(予定)がありますか。

図Ⅲ-9-7 成年後見制度の利用意向

一愛の手帳の程度、現在一緒に生活している人〔複数回答〕、回答者別



(注1)回答者別については、回答者が不明のものは省略した。

(注2)「現在一緒に生活している人」は在宅者を対象とした設問のため、総数は743人である。

なお、「その他」は主にグループホーム、ケアホームの居住者である。

(注3)「現在一緒に生活している人」が「子供」については、母集団が少数のため省略した。

(9) 介護保険制度の利用の有無一年齢階級別

※調査日基準日現在 40 歳以上の 290 人が対象

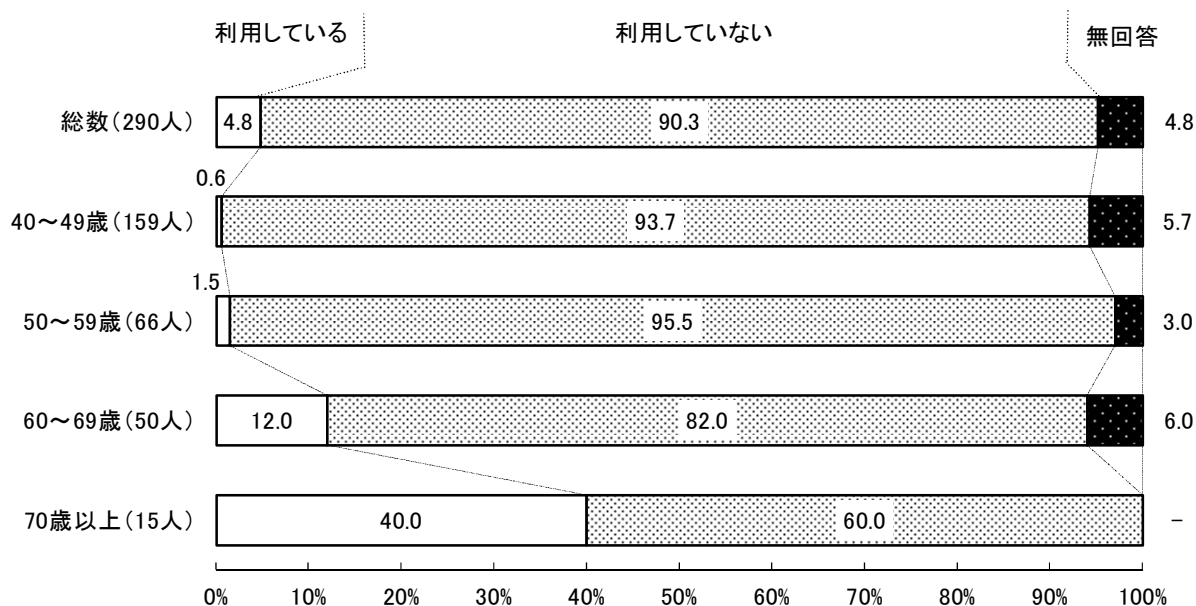
介護保険制度を「利用していない」人が 90.3%

平成 25 年 10 月 16 日現在、40 歳以上の人に介護保険制度の利用状況を聞いたところ「利用している」と答えた人の割合は 4.8%、「利用していない」は 90.3%であった。

年齢階級別にみると「利用している」割合は、年齢が高くなるにつれて、上昇していく。
(図Ⅲ-9-8)

問 あなたは介護保険制度を利用していますか。

図Ⅲ-9-8 介護保険制度の利用の有無一年齢階級別



10 施設入所（施設入所者対象）

※調査基準日現在、施設に入所している 67 人が対象

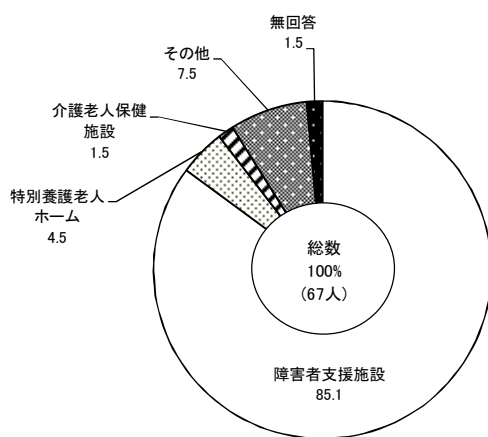
（１）入所している施設の種類の割合

げんざいにゆうしょ しせつ しょうがいしゃしえんしせつ
現在入所している施設は「障害者支援施設」が 85.1%

調査基準日現在、入所している施設を聞いたところ、「障害者支援施設」の割合が 85.1%と最も高く、次いで「特別養護老人ホーム」が 4.5%となっている。（図Ⅲ-10-1）

とい 問 あなたが現在入所している施設はどれですか。

図Ⅲ-10-1 入所している施設の種類の割合



（注）救護施設、更生施設（生活保護法に基づく）及び宿所提供施設に入所している人はいなかった。

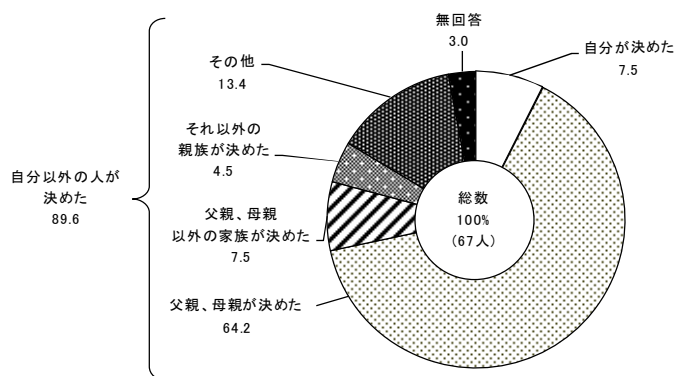
（２）入所を決めた人とその理由

にゆうしょ き ひと じぶんいがい ひと わりあい やくわり
入所を決めた人は「自分以外の人」の割合が約9割

入所を決めた人は誰か聞いたところ、「自分が決めた」割合が 7.5%、「自分以外の人が決めた」が 89.6%で約 9 割となっている。（図Ⅲ-10-2）

とい 問 入所を決めた人は誰ですか。

図Ⅲ-10-2 入所を決めた人



（注）自分で施設入所を決めた人の理由については、母集団が 5 人のため省略した。

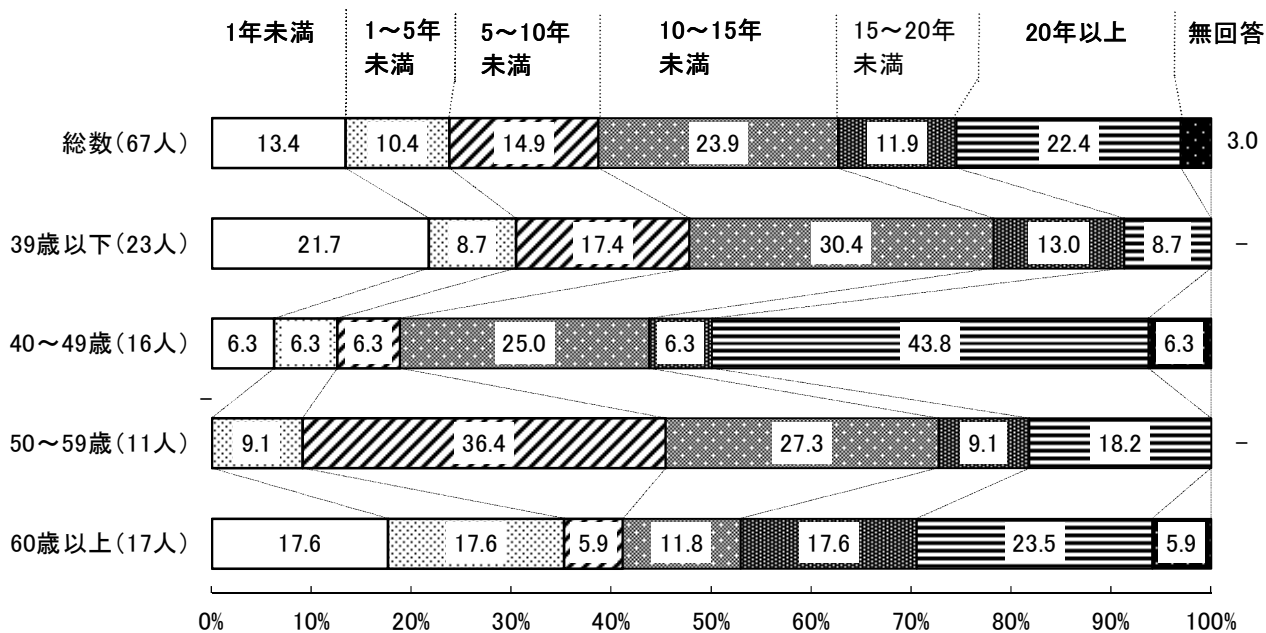
(3) 入所年数一年齢階級別

いま しせつ はい
今の施設に入ってから^{ねんすう}の年数は、「^{ねんいじょう}20年以上^{わりあい}」の割合が22.4%

今の施設に入ってから^{ねんすう}の年数は、「10～15年未満」の割合が最も高く23.9%、次いで「20年以上」が22.4%となっている。（図Ⅲ-10-3）

とい 問 あなたは、いま しせつ はい
あなたは、今の施設に入ってからどれくらい（何年^{なんねん}）になりますか。

図Ⅲ-10-3 入所年数一年齢階級別



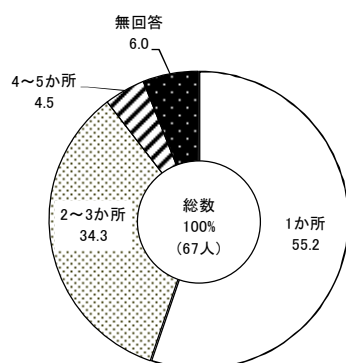
(4) 入所施設数

いま はい しせつ しょ
今まで入った施設は「1か所」が 55.2%

今までに入った施設数（今の施設も含む）を聞いたところ、「1 か所」が 55.2%と最も高く、次いで「2～3 か所」が 34.3%となっている。（図Ⅲ-10-4）

とい 問 あなたがいま はい しせつ なん しょ
あなたが今まで入った施設は何か所ですか。

図Ⅲ-10-4 入所施設数



(注)施設入所が「6 か所以上」については、該当者がいないため省略した。

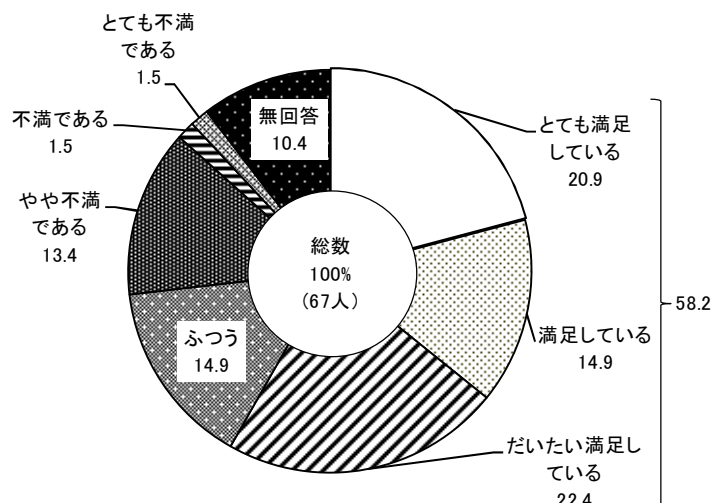
(5) 施設での生活に満足しているか

しせつ せいかつ まんぞく
施設での生活に「満足している（「とても満足している」＋「満足している」＋「だいたい満足している」）」割合は 58.2%

今の施設での生活に満足しているか聞いたところ、「満足している（とても満足している（20.9%）＋満足している（14.9%）＋だいたい満足している（22.4%）」割合は 58.2%であった。（図Ⅲ-10-5）

とい 問 あなたは、いま しせつ せいかつ まんぞく
あなたは、今の施設での生活に満足していますか。

図Ⅲ-10-5 施設での生活に満足しているか



11 その他の福祉サービス等

(1) 将来暮らしたいところ一年齢階級、回答者、現在の生活の場別

将来「^{しょうらい}家族が^{かぞく}住んでいる^す家^{いえ}」で暮らしたい^く割合は^{わりあい}41.7%

将来どこで暮らしたいか聞いたところ、「家族が住んでいる家」の割合が41.7%で最も高く、次いで「グループホーム又はケアホーム」が15.9%となっている。

年齢階級別にみると10～20代では「家族から独立して生活（施設入所、グループホーム、ケアホーム等での生活を除く）」の割合（10代15.2%、20代11.0%）が総数（8.5%）よりも高くなっている。（表Ⅲ-11-1）

問 あなたは、将来どこで暮らしたいと思いますか。

表Ⅲ-11-1 将来暮らしたいところ一年齢階級、回答者、現在の生活の場別

		総数	施設に入所して生活	家族が住んでいる家	グループホーム又はケアホーム	ケア施設から独立して生活（グループホーム、ケアホーム等での生活を除く）	その他	わからない	無回答
総数		100.0 (810)	14.4	41.7	15.9	8.5	2.0	15.2	2.2
年齢階級別	19歳以下	100.0 (79)	6.3	40.5	17.7	15.2	-	19.0	1.3
	20～29歳	100.0 (246)	8.9	43.5	18.7	11.0	-	14.6	3.3
	30～39歳	100.0 (195)	14.4	44.6	14.9	7.7	1.0	15.9	1.5
	40～49歳	100.0 (159)	22.0	36.5	16.4	5.7	1.9	15.1	2.5
	50～59歳	100.0 (66)	19.7	39.4	12.1	4.5	7.6	13.6	3.0
	60歳以上	100.0 (65)	21.5	43.1	9.2	4.6	9.2	12.3	-
回答者別	本人が回答	100.0 (372)	7.3	43.3	14.2	12.6	3.8	16.7	2.2
	本人以外が回答	100.0 (437)	20.6	40.3	17.4	5.0	0.5	14.0	2.3
現在の生活の場別	在宅で生活している（グループホーム、ケアホームを含む）	100.0 (743)	10.9	44.4	16.7	8.9	2.2	14.8	2.2
	施設に入所している	100.0 (67)	53.7	11.9	7.5	4.5	-	19.4	3.0

（注）回答者別については、回答者が不明のものは省略した。

(2) 将来暮らしたいところ－愛の手帳の程度、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別

将来どこで暮らしたいかについて、愛の手帳の程度別にみると、程度が重くなるにつれて「施設に入所して生活」と回答した割合が高くなっている。(表Ⅲ-11-2)

表Ⅲ-11-2 将来暮らしたいところ

－愛の手帳の程度、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別

		総 数	施 設 に 入 所 し て 生 活	家 族 が 住 ん で い る 家	ケ ア ホ ー ム ホ ー ム 又 は	ケ ア ホ ー ム 等 で の 生 活 を 除 く 、 家 族 か ら 独 立 し て 生 活 す る ホ ー ム 、 グ ル ー プ ホ ー ム 、 そ の 他	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
総数		100.0 (810)	14.4	41.7	15.9	8.5	2.0	15.2	2.2
愛 の 手 帳 の 程 度 別	1度	100.0 (31)	<u>38.7</u>	38.7	6.5	3.2	－	12.9	－
	2度	100.0 (225)	<u>25.8</u>	34.2	22.7	4.4	0.4	9.8	2.7
	3度	100.0 (183)	<u>10.9</u>	47.5	15.8	3.8	1.1	18.6	2.2
	4度	100.0 (371)	<u>7.3</u>	43.7	12.7	13.7	3.5	17.0	2.2
現 在 一 緒 に 生 活 し て い る 人 〔 複 数 回 答 〕 別	父親、母親	100.0 (583)	12.7	48.4	14.4	7.4	0.5	14.2	2.4
	夫、妻	100.0 (11)	－	63.6	－	9.1	18.2	9.1	－
	兄弟姉妹	100.0 (310)	8.1	54.2	14.5	10.0	－	11.6	1.6
	その他の親族	100.0 (54)	3.7	57.4	13.0	9.3	－	14.8	1.9
	一人で暮らしている	100.0 (43)	9.3	11.6	7.0	25.6	20.9	25.6	－
	その他	100.0 (69)	2.9	13.0	50.7	13.0	2.9	15.9	1.4

(注1) 「現在一緒に生活している人」は在宅者を対象とした設問のため、総数は743人である。

なお、「その他」は主にグループホーム、ケアホームの居住者である。

(注2) 「現在一緒に生活している人」が「子供」については、母集団が少数のため省略した。

(3) 地域生活をする上で必要な福祉サービス等〔3つまでの複数回答〕

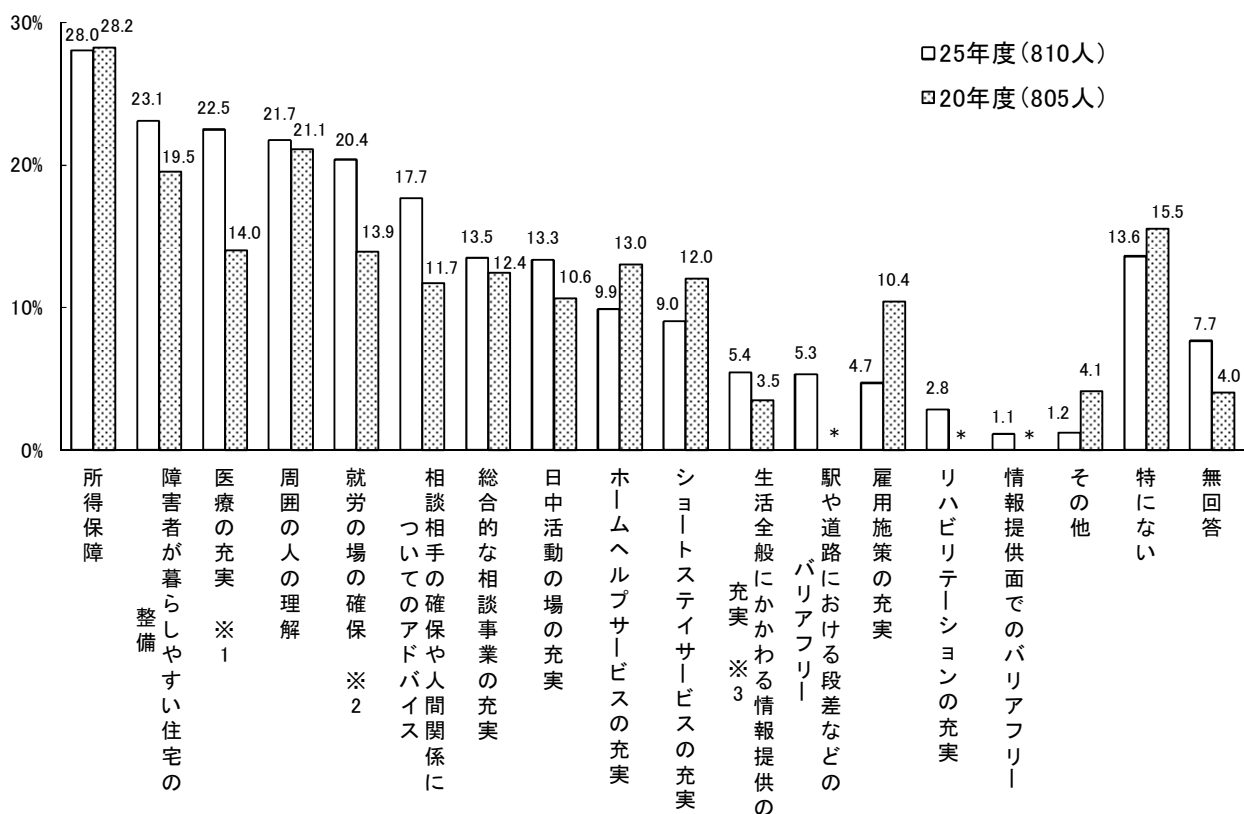
ちい せい いかつ うえ いりよう じゅうじつ ひつよう こた わりあい ねん どちょうさ
地域生活をする上で「医療の充実」が必要と答えた割合は、20年度調査よりも8.5ポイント
じょうしょう
上昇し22.5%

地域生活をしたり、しようとする上で、必要な福祉サービス等は何か聞いたところ「所得保障」の割合が28.0%と最も高く、次いで「障害者が暮らしやすい住宅の整備」が23.1%であった。

20年度調査との比較では、「医療の充実」の割合が8.5ポイント増加し22.5%、また、「雇用施策の充実」は5.7ポイント減少し4.7%となった。(図Ⅲ-11-1)

と い 問 あなたが、ちい せい いかつ うえ ひつよう ふくし どう なん
地域生活をする上で、必要な福祉サービス等は何ですか。

図Ⅲ-11-1 地域生活をする上で必要な福祉サービス等〔3つまでの複数回答〕



(注1) 20年度調査では、※1は「医療やリハビリテーションの充実」としていた。

(注2) 20年度調査では、※2は「授産施設などの就労の場の確保」としていた。

(注3) 20年度調査では、※3は「情報提供の充実」としていた。

(注4) *は20年度調査時選択肢がなかったもの

(4) 地域生活をする上で必要な福祉サービス等〔3つまでの複数回答〕

一年齢階級、愛の手帳の程度、平日の日中主に過ごしたところ別

地域生活をする上で必要な福祉サービス等について年齢階級別にみると、「就労の場の確保」の割合は年齢が低くなるにつれて高くなっている。

愛の手帳の程度別にみると、3度、及び4度では「所得保障」の割合が高い（3度 30.6%、4度 27.8%）。

平日の日中主に過ごしたところ別にみると、「通所施設（デイケア、地域活動支援センター等を含む・福祉的就労の施設は除く）」の人は「ホームヘルプサービスの充実」（27.7%）と「ショートステイサービスの充実」（25.2%）が必要と答えた割合が、総数（9.9%、9.0%）と比べて高くなっている。（表Ⅲ-11-3）

表Ⅲ-11-3 地域生活をする上で必要な福祉サービス等〔3つまでの複数回答〕

一年齢階級、愛の手帳の程度、平日の日中主に過ごしたところ別

		総 数	住 宅 害 の 整 備 が 暮 ら し や す い	駅 や の 道 路 に お け る 段 差	就 労 の 場 の 確 保	雇 用 施 策 の 充 実	所 得 保 障	総 合 的 な 相 談 事 業 の 充 実	ホ ー ム ヘ ル プ サ ー ビ ス の 充 実	日 中 活 動 の 場 の 充 実	シ ョ ー ト ス テ イ サ ー ビ ス の 充 実
総数		100.0 (810)	23.1	5.3	20.4	4.7	28.0	13.5	9.9	13.3	9.0
年 齢 階 級 別	19歳以下	100.0 (79)	17.7	2.5	35.4	5.1	35.4	13.9	5.1	12.7	13.9
	20～29歳	100.0 (246)	27.2	4.9	22.0	7.7	32.9	13.0	14.6	14.6	10.6
	30～39歳	100.0 (195)	20.5	5.6	20.5	4.1	27.7	12.8	5.6	15.9	8.2
	40～49歳	100.0 (159)	19.5	5.7	18.9	3.8	23.9	11.9	8.8	12.6	8.8
	50～59歳	100.0 (66)	28.8	4.5	15.2	1.5	27.3	18.2	15.2	9.1	4.5
	60歳以上	100.0 (65)	24.6	9.2	4.6	—	12.3	15.4	7.7	7.7	4.6
愛 の 手 帳 の 程 度 別	1度	100.0 (31)	32.3	16.1	3.2	—	19.4	9.7	32.3	6.5	29.0
	2度	100.0 (225)	26.7	5.8	8.0	1.3	27.6	15.1	18.2	26.7	19.6
	3度	100.0 (183)	23.5	2.2	26.2	5.5	30.6	12.0	6.0	12.0	5.5
	4度	100.0 (371)	19.9	5.7	26.4	6.7	27.8	13.5	4.9	6.5	2.7
主 に 過 ご し た と こ ろ 別 平 日 の 日 中	自分の家	100.0 (166)	21.7	7.8	16.9	5.4	24.7	8.4	7.2	6.6	7.2
	職場(福祉的就労の施設を除く)	100.0 (199)	19.1	2.5	32.2	8.5	29.6	14.6	5.5	3.5	1.5
	職場(福祉的就労の施設)	100.0 (240)	22.9	4.2	24.2	4.2	28.8	15.8	8.3	16.7	10.0
	学校	100.0 (23)	30.4	4.3	34.8	—	43.5	13.0	4.3	21.7	8.7
	通所施設(デイケア、地域活動支援センター等を含む・福祉的就労の施設は除く)	100.0 (119)	26.1	10.1	4.2	1.7	29.4	14.3	27.7	28.6	25.2
	入所施設	100.0 (55)	32.7	3.6	3.6	—	21.8	14.5	5.5	18.2	3.6

(注) 平日の日中主に過ごしたところが「その他」については、母集団が少数のため省略した。

また、「医療の充実」の割合は、愛の手帳の程度別にみると１度で 38.7%、平日の日中主に過ごしたところ別にみると、入所施設が 40.0%でそれぞれ総数（22.5%）よりも 10 ポイント以上高くなっている。（表Ⅲ-11-3）

情報提供面でのバリア	生活全般にかかわる情報提供の充実	相談相手の確保や関係人との連携	周囲の人の理解	医療の充実	リハビリテーションの充実	その他	特になし	無回答
1.1	5.4	17.7	21.7	<u>22.5</u>	2.8	1.2	13.6	7.7
2.5	10.1	15.2	31.6	16.5	3.8	－	8.9	5.1
0.4	5.3	22.0	21.5	16.3	2.4	1.6	12.2	6.5
－	6.2	16.9	20.5	26.2	3.6	－	16.4	7.7
0.6	4.4	17.0	20.8	28.3	3.8	1.9	11.9	8.8
4.5	1.5	19.7	16.7	27.3	－	3.0	9.1	10.6
3.1	4.6	6.2	21.5	23.1	1.5	1.5	24.6	9.2
－	3.2	－	9.7	<u>38.7</u>	6.5	－	3.2	19.4
0.4	4.9	8.0	19.6	31.1	4.4	1.8	8.0	7.1
0.5	5.5	18.0	26.8	23.5	1.6	2.2	12.6	8.2
1.9	5.9	24.8	21.6	15.4	2.2	0.5	18.3	6.7
1.2	4.2	17.5	22.3	23.5	2.4	1.2	17.5	8.4
－	7.5	27.6	22.6	11.6	0.5	0.5	18.1	4.5
1.7	5.8	16.7	21.3	20.8	2.9	1.7	10.8	9.2
－	8.7	17.4	34.8	21.7	－	－	13.0	－
0.8	3.4	5.9	16.0	35.3	8.4	2.5	6.7	5.0
3.6	1.8	12.7	27.3	<u>40.0</u>	1.8	－	12.7	12.7

12 災害関係

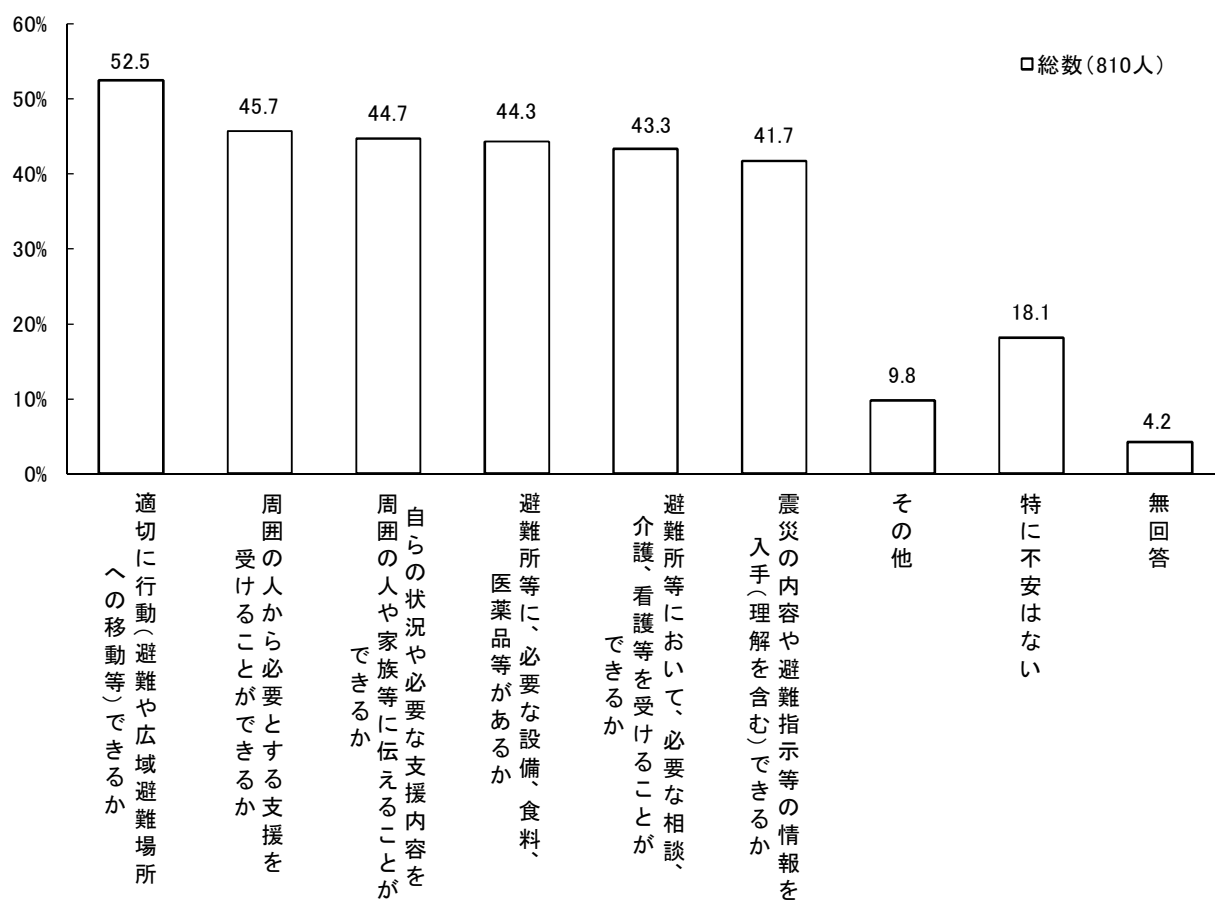
(1) 震災時に不安を感じる事〔複数回答〕

震災時に不安を感じることは、「適切に行動（避難や広域避難場所への移動等）できるか」の割合が最も高く、5割を超えた

震災時に不安を感じることを聞いたところ、「適切に行動（避難や広域避難場所への移動等）できるか」と答えた割合が52.5%と最も高く、5割を超えた。（図Ⅲ-12-1）

問 あなたが、震災時に、不安を感じることは、何ですか。

図Ⅲ-12-1 震災時に不安を感じる事〔複数回答〕



(2) 震災時に不安を感じる事〔複数回答〕－愛の手帳の程度、年齢階級別

愛の手帳の程度別にみると、1度の人では「避難所等に、必要な設備、食料、医薬品等があるか」の割合が77.4%と最も高く、次いで「避難所等において、必要な相談、介護、看護等を受けることができるか」が71.0%となっている。(表Ⅲ-12-1)

表Ⅲ-12-1 震災時に不安を感じる事〔複数回答〕－愛の手帳の程度、年齢階級別

		総 数	入 手 災 の 理 解 を 含 む 指 示 等 の 情 報 を	へ 適 切 に 行 動 等 で 避 難 や 広 域 避 難 場 所	で 周 自 ら の 人 状 況 や 家 族 等 に 必 要 な 支 援 内 容 を が	受 周 困 の こ と か ら 必 要 と す る 支 援 を	で 介 護 、 看 護 に お い て 、 必 要 な 相 談 、	避 難 所 等 に あ る か	医 薬 品 等 に あ る か	避 難 所 等 に あ る か	そ の 他	特 に 不 安 は な い	無 回 答
総数		100.0 (810)	41.7	52.5	44.7	45.7	43.3	44.3	9.8	18.1	4.2		
年 齢 階 級 別	19歳以下	100.0 (79)	45.6	55.7	53.2	51.9	40.5	44.3	8.9	16.5	1.3		
	20～29歳	100.0 (246)	50.4	61.4	55.3	50.8	47.6	50.4	9.3	14.2	2.4		
	30～39歳	100.0 (195)	41.0	51.3	41.0	50.3	42.1	43.6	10.8	20.0	2.6		
	40～49歳	100.0 (159)	30.8	44.7	35.2	37.1	42.8	42.1	10.1	20.8	8.2		
	50～59歳	100.0 (66)	42.4	48.5	36.4	31.8	39.4	39.4	9.1	15.2	7.6		
	60歳以上	100.0 (65)	32.3	41.5	36.9	40.0	40.0	33.8	9.2	26.2	6.2		
愛 の 手 帳 の 程 度 別	1度	100.0 (31)	54.8	67.7	58.1	64.5	<u>71.0</u>	<u>77.4</u>	16.1	—	6.5		
	2度	100.0 (225)	47.1	58.7	50.7	55.6	56.0	50.7	17.8	11.6	6.7		
	3度	100.0 (183)	45.4	54.1	50.8	51.4	45.4	41.5	6.6	15.3	3.8		
	4度	100.0 (371)	35.6	46.6	36.9	35.3	32.3	39.1	5.9	25.1	2.7		

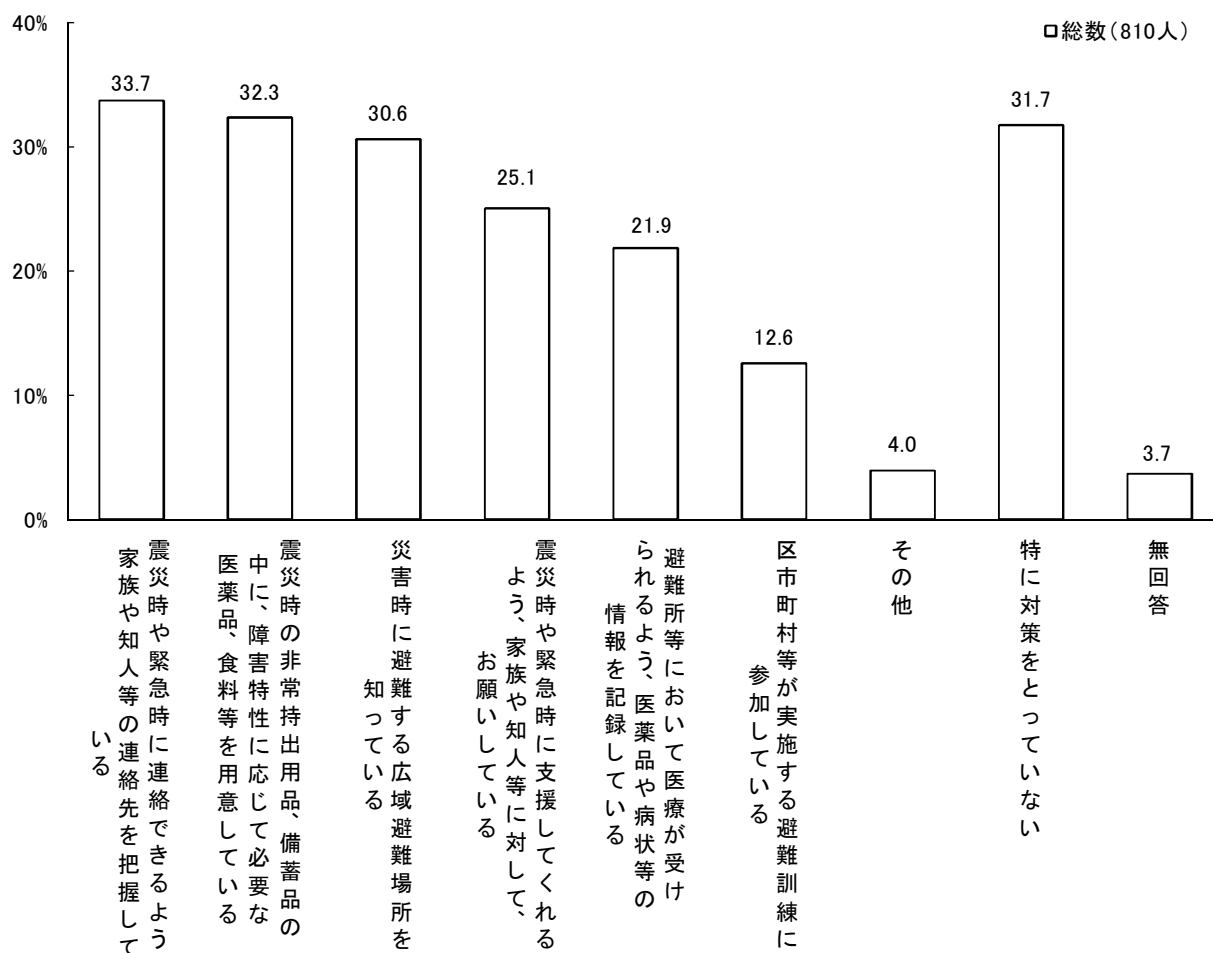
(3) 震災に備えて、障害特性に応じた特別な対策をとっているか〔複数回答〕

「しんさいじ きんきゅうじ れんらく震災時や緊急時に連絡できるよう、かぞく ちじんとう れんらくさき はあく家族や知人等の連絡先を把握している」割合が最も高いわりあい

震災に備えて、障害特性に応じて特別な対策をとっているか聞いたところ、「震災時や緊急時に連絡できるよう、家族や知人等の連絡先を把握している」割合が33.7%と最も高く、次いで「震災時の非常持出用品、備蓄品の中に、障害特性に応じて必要な医薬品、食料等を用意している」が32.3%であった。また、「特に対策をとっていない」の割合も31.7%にのぼった。(図Ⅲ-12-2)

問 あなたは、しんさい震災に備えて、しょうがいとくせい障害特性に応じた特別な対策をとっていますか。

図Ⅲ-12-2 震災に備えて、障害特性に応じた特別な対策をとっているか〔複数回答〕



(4) 震災に備えて、障害特性に応じた特別な対策をとっているか〔複数回答〕

－愛の手帳の程度、年齢階級別

愛の手帳の程度別にみると、程度が重くなるにつれて、「震災時の非常持出用品、備蓄品の中に、障害特性に応じて必要な医薬品、食料等を用意している」割合が上昇している。(表Ⅲ-12-2)

表Ⅲ-12-2 震災に備えて、障害特性に応じた特別な対策をとっているか〔複数回答〕

－愛の手帳の程度、年齢階級別

		総 数	医中震 薬に災 品、時の 、障害非常 、食料持 等、性に出 を用用品 意じて、備 必要蓄品 の	情ら避 報れる難 を記よう 録し、に いて医 薬品療 や病 状等 の	い家震 る族災 、時や 、知人緊 、急等 の連 絡先 を把 握し よう 、	およ震 願う災 、時や 、家緊 族急 、知時 人、に 等支 援し てく れる	知災 つ害 て時に いる避難 する 広域 避難 場所 を	参区 加市 し町 て村 いる 等 が 実 施 す る 避 難 訓 練 に	そ の 他	特 に 対 策 を と っ て い な い	無 回 答
総数		100.0 (810)	32.3	21.9	33.7	25.1	30.6	12.6	4.0	31.7	3.7
年齢階級別	19歳以下	100.0 (79)	32.9	17.7	31.6	20.3	31.6	5.1	—	34.2	2.5
	20～29歳	100.0 (246)	35.0	24.0	39.8	26.8	35.4	11.0	2.4	28.5	2.4
	30～39歳	100.0 (195)	28.7	24.6	32.3	23.1	27.7	13.8	5.1	29.7	3.1
	40～49歳	100.0 (159)	34.6	18.9	29.6	28.3	29.6	17.6	6.3	31.4	5.7
	50～59歳	100.0 (66)	34.8	25.8	39.4	28.8	37.9	15.2	3.0	31.8	3.0
	60歳以上	100.0 (65)	24.6	13.8	21.5	18.5	15.4	9.2	6.2	47.7	7.7
愛の手帳の程度別	1度	100.0 (31)	<u>54.8</u>	38.7	38.7	41.9	45.2	9.7	22.6	16.1	3.2
	2度	100.0 (225)	<u>44.9</u>	33.3	27.1	25.8	30.2	13.8	3.6	23.6	5.3
	3度	100.0 (183)	<u>29.5</u>	20.2	32.8	29.0	27.3	14.2	2.7	32.8	3.3
	4度	100.0 (371)	<u>24.3</u>	14.3	37.7	21.3	31.3	11.3	3.2	37.5	3.0